

単価改定システム 操作手引書

第4版 令和 2 年 2 月 21 日

1. システム概要	1
2. スタートメニュー	2
2. 1. 新規改定作業開始	3
2. 2. 改定世代変更	4
3. メインメニュー	5
3. 1. データ取込み	6
3. 1. 1. J A C I Cデータの取込み	7
3. 1. 2. 刊行物データの取込み	10
3. 1. 3. C S Vファイルの取込み	14
3. 1. 4. 単価追加データの取込み	18
3. 2. データ編集	20
3. 1. 1. 検索・表示欄	21
3. 1. 2. 明細欄・一覧項目	22
3. 1. 3. コマンド欄	23
3. 2. 4. ショートカットメニュー	27
3. 3. 分類管理	28
3. 3. 1. 分類管理	28
3. 3. 2. 改定品目区分管理	29
3. 4. データ出力	30
3. 4. 1. C S Vデータ出力	31
3. 4. 2. X M Lデータ出力	34
3. 4. 3. E S T I M A (新)データ出力	35
3. 4. 4. E S T I M A (旧)データ出力	36
3. 4. 5. 協議会資料E X C E L出力	37
3. 4. 6. 積算基準（内部用）E X C E L出力	38
3. 4. 7. 積算基準（公開用）E X C E L出力	39
4. 管理メニュー	40
4. 1. 世代管理	41
4. 2. 地区コード管理	42
4. 2. 1. 県コード	43
4. 2. 2. 経済調査会コード	44
4. 2. 3. 建設物価調査会コード	45
4. 3. 品目区分管理	46

4. 4. 出典区分管理	4 7
4. 5. 非公開フラグ管理	4 8
4. 6. 非公開理由管理	4 9
4. 7. 変更理由管理	5 0
4. 8. 出力パターン管理	5 1
4. 9. 履歴	5 3
5. データレイアウト	5 5
5. 1. 刊行物データレイアウト	5 5
5. 2. XML出力データレイアウト	6 0
5. 3. E S T I M A (新) 出力データレイアウト	6 5
5. 4. E S T I M A (旧) 出力データレイアウト	6 9
5. 5. 単価追加データレイアウト	7 2

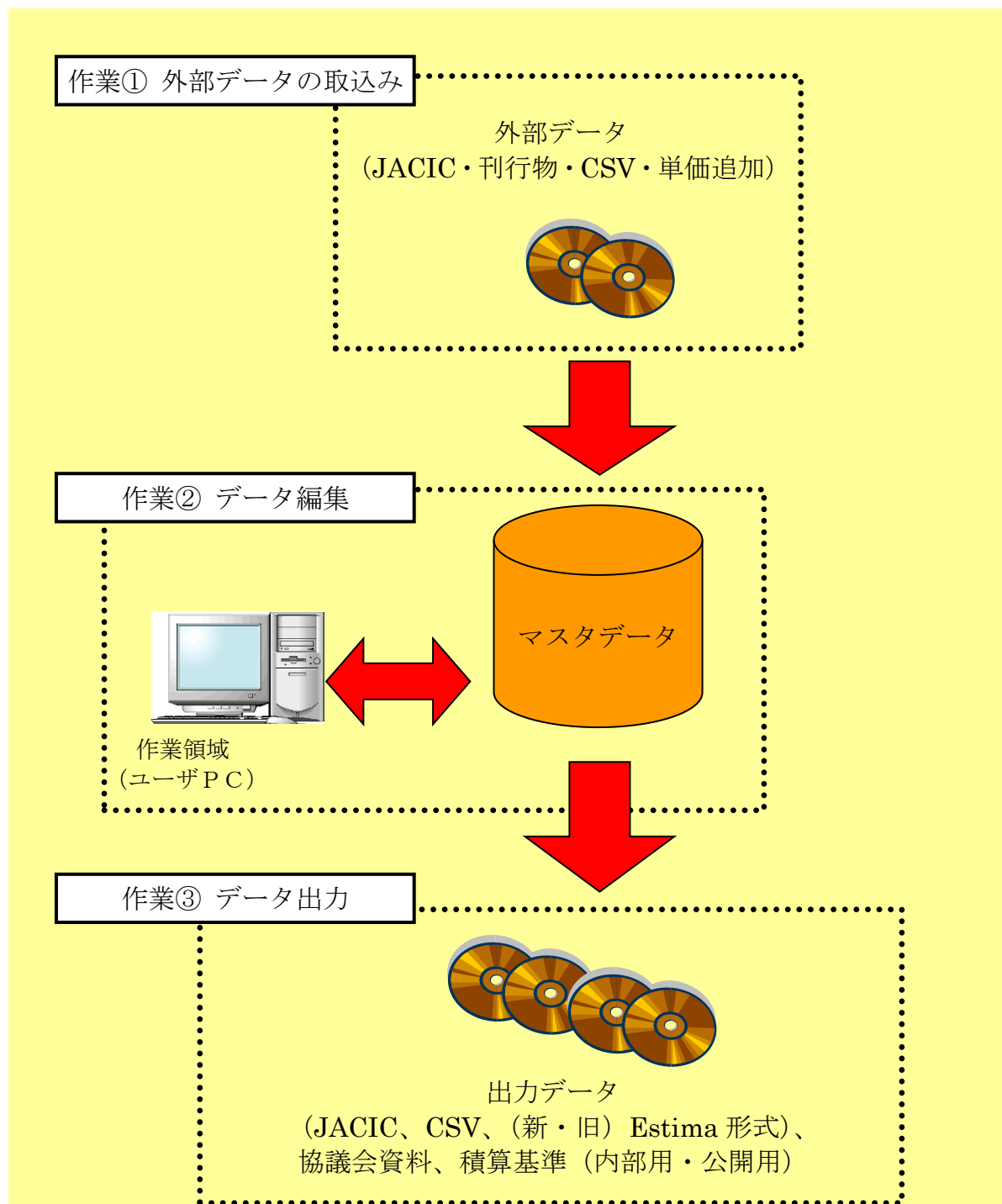
単価改定支援システム

■ 1. システム概要 ■

本システムは、以下の機能を可能とします。

- ① 外部から、単価データ（JACIC・刊行物・CSV 形式・単価追加）を取込みます。
- ② ①で取込んだ単価データを編集します。
- ③ ②で編集が終わった単価データを JACIC、CSV、（新・旧）Estima 形式・協議会資料・積算基準（内部用・公開用）で出力します。

《本システム》



単価改定支援システム

■ 2. スタートメニュー ■

システム起動後、最初に表示される画面です。

単価改正作業の再開、世代の作成、接続世代の変更、管理メニューなどの画面を開きます。

スタートメニュー

① 2008年04月01日[01版]を改定中です

② 改定作業再開

③ 新規改定作業開始

④ 改定世代変更

⑤ 管理メニュー

⑥ 終了

No	項目	説明	説明頁
①	タイトル	接続中の世代、版を表示しています。	
②	改定作業再開	接続中の世代で単価改定作業を再開します。	5
③	新規改定作業開始	新しく世代を作成して単価改定作業を開始します。	3
④	改定世代変更	接続する世代を変更します。	4
⑤	管理メニュー	コード表などの管理を行います。	32
⑥	終了	システムを終了します。	

単価改定支援システム

■ 2. 1. 新規改定作業開始 ■

新しく世代を作成して単価改定作業を開始します。

- (1) 直前の世代を選択します。
- (2) 新しく作成する世代の「適用日」、「版」、「コメント」(任意)を入力します。
- (3) よろしければ、**作成**をクリックします。

新規世代作成

(1) 前世代の選択

適用日	版	前世代年月	コメント	作成日
2008/04/01	01			2008/04/01
2008/07/01	01	2008/04/01		2008/07/01

(2) 新規改定世代 (作成する世代)

適用日: 2008/10/01
版: 01
コメント: 平成20年度 改定作業世代

(3) 作成 戻る

- (4) 確認メッセージが表示されますので、**OK**をクリックします。

単価システム

以下のように新規改定世代を作成します。よろしいですか？

直前世代 : 2008年07月01日 [01版]
新規世代 : 2008年10月01日 [01版]

OK キャンセル

- (5) **OK**をクリックすると、新しい改定世代「2008年10月01日 01版」で改定作業を開始することができます。

単価システム

正常に終了しました

OK

メインメニュー

2008年10月01日[01版]を改定中です

データ取込み
データ編集
分類管理
データ出力
管理メニュー

戻る
終了

単価改定支援システム

■ 2. 2. 改定世代変更 ■

改定世代の変更を行います。

(1) 変更する改定世代を選択します。

(2) **変更** をクリックすることで改定世代が変更されます。

(1)

世代一覧					
	適用日	版	前世代年月	コメント	作成日
	2008/04/01	01			2008/04/01
▶	2008/07/01	01	2008/04/01		2008/07/01

(2)

変更 戻る

(3) 確認メッセージが表示されるので、**はい** をクリックします。

単価システム

接続単価世代を変更します。よろしいですか？

はい(Y) いいえ(N)

(4) (1) で選択した改定世代「2008 年 07 月 01 日 01 版」に変更されます。

単価システム

2008年07月01日[01版]を改定中です

改定作業再開

新規改定作業開始

改定世代変更

管理メニュー 終了

単価改定支援システム

■ 3. メインメニュー ■

スタートメニューで「改定作業再開」を選択すると表示される画面です。

データの取込み～編集～出力までを行います。管理メニューでは、コード表などの管理を行うことができます。

メインメニュー

① 2008年04月01日[01版]を改定中です

② データ取込み

③ データ編集

④ 分類管理

⑤ データ出力

⑥ 管理メニュー

戻る ⑦

終了 ⑧

No	項目	説明	説明頁
①	タイトル	接続中の世代、版を表示しています。	
②	データ取込み	データ取込み画面を開きます。	6
③	データ編集	データ編集画面を開きます。	17
④	分類管理	分類管理画面を開きます。	24
⑤	データ出力	データ出力画面を開きます。	25
⑥	管理メニュー	管理メニューを開きます。	32
⑦	戻る	スタートメニューに戻ります。	
⑧	終了	システムを終了します。	

単価改定支援システム

■ 3. 1. データ取込み ■

外部データを取り込みます。

データ取込【2020年01月06日[01版]】

① データ種類

JACICデータ

刊行物データ

CSVファイル

単価追加

② 取込フォルダ

参照

③

取込開始

④

戻る

⑤

No	項目	説明
①	データ種類	取込むデータの種類を選択します。 「JACIC データ」、「刊行物データ」、「CSV ファイル」「単価追加」
②	取込フォルダ (ファイル)	取込み元のフォルダ (又はファイル) を指定します。 ※③参照 ボタンから簡単に指定することができます。
③	参照	取込み元のフォルダ (又はファイル) を指定するダイアログを表示します。
④	取込開始	取込処理を開始します。
⑤	戻る	メインメニューに戻ります。

単価改定支援システム

< 3. 1. 1 JACIC データの取込み >

JACIC ファイル（労務属性データ、材料属性データ）を取込みます。

(1) データ種類で **JACIC データ** を選択します。

(2) 取込フォルダを指定して **取込開始** をクリックします。（**参照** からフォルダ指定できます。）

※JACIC データは、労務属性データと材料属性データの2ファイルを取込むため、XML ファイルがあるフォルダを指定して一括で取込みます。

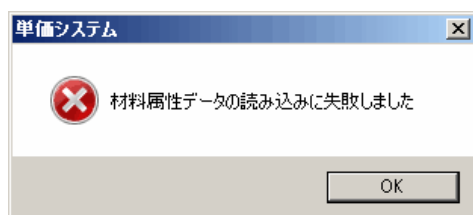
(3) 確認メッセージが表示されるので、よろしければ内容を確認して **はい** をクリックします。

取込み項目一覧	
項目	内容
単価コード	
運用開始年月	
有効終了年月	
名称	
規格	
単位	
構成比	
地区区分	
製品区分	

(4) 少しすると、取込み処理が終了します。
結果を確認して **OK** をクリックします。

単価改定支援システム

※エラーがある場合はデータが取り込まれません。



エラー出力にてエラーリスト(Excel形式)を出力し、エラー内容を確認してください。

データ取込【2020年01月06日[01版]】

データ種類: JACICデータ 刊行物データ CSVファイル 単価追加

取込フォルダ: D:\chibaken_20200106\202001\04shuhen_data 参照

エラー出力

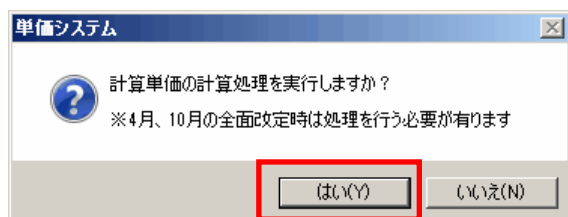
項目	内容
行数	エラー発生行数
データ内容	該当行の内容

下記条件に合致する重複単価コードのデータは、エラーとして扱われず処理されます。

条件	処理内容
単価コード・運用開始年月が同一の重複単価が存在する	最初に取り込まれた単価を優先し、後から取り込まれた単価はスキップする
単価コードが同一かつ、有効終了年月未指定で、運用開始年月に差異がある単価が存在する	運用開始年月が新しい単価を採用する
単価コードが同一だが、有効終了年月が設定されているものと、その有効終了年月以降の運用開始年月が設定されている単価が存在する	有効終了年月以降の運用開始年月が設定されている単価を採用する

単価改定支援システム

(5) 計算単価の自動実行を行うかの確認メッセージが表示されます。



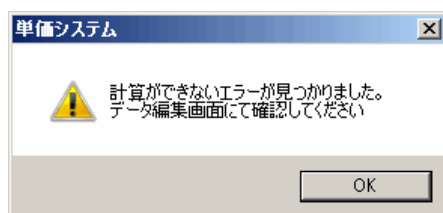
計算処理を行う場合には「はい」をクリックします。

「はい」を選択した場合には、計算単価の自動実行が行われます。

エラーが無ければメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。



※計算処理でエラーが発生した場合には、メッセージが表示されます。

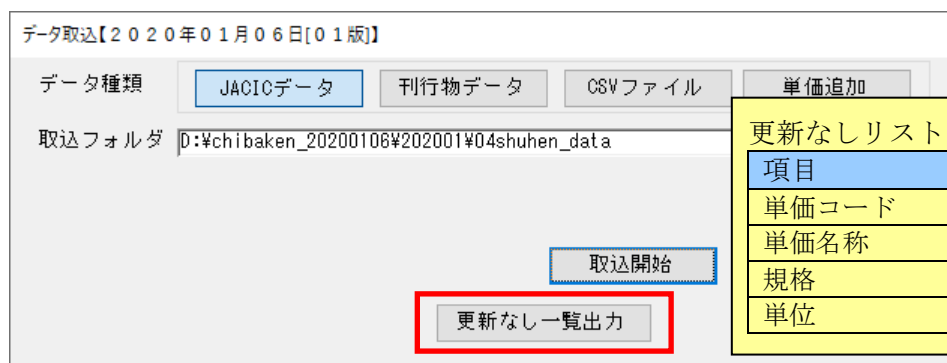


データ編集画面の計算単価よりエラー内容を確認し、エラー解消作業を行ってください。

(6) 取込後に下記に該当するデータがある場合は「更新なし一覧出力」が表示されます。

更新なしリスト(Excel 形式)を出力し、内容を確認してください。

- 取込先世代で JACIC 名称が設定されている単価
- 取込んだ XML ファイル上に存在しない単価コードの単価



更新なしリスト内容

項目	内容
単価コード	
単価名称	
規格	
単位	

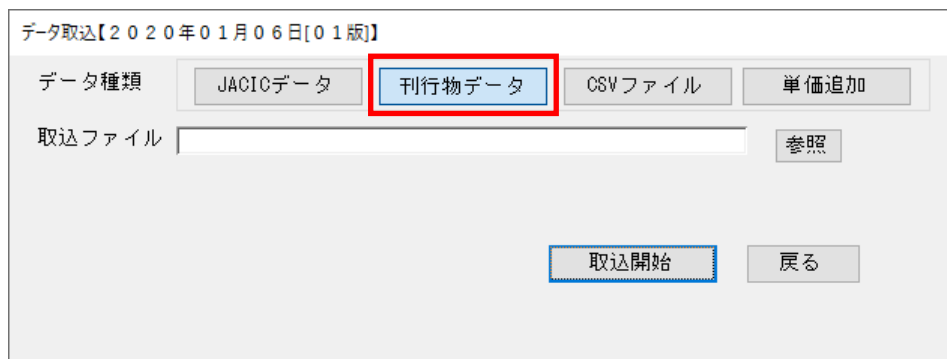
以上で、JACIC データからの取込みは終了です。

単価改定支援システム

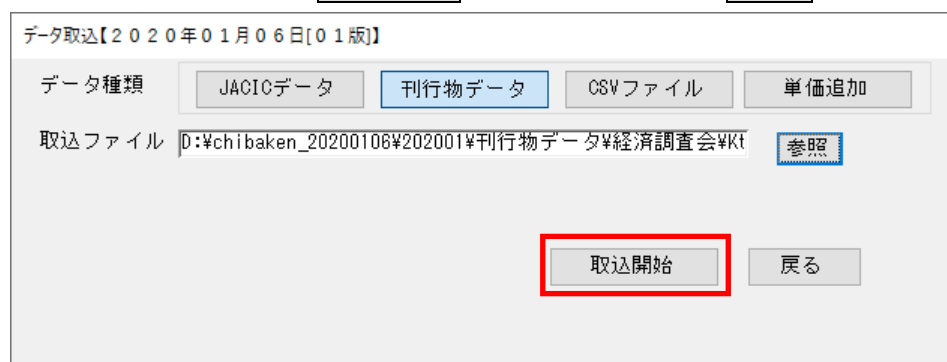
< 3. 1. 2 刊行物データの取込み >

刊行物データを取込みます。

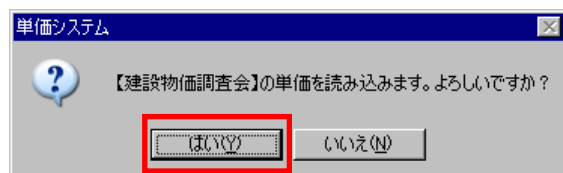
(1) データ種類で **刊行物データ** を選択します。



(2) 取込ファイルを指定して **取込開始** をクリックします。(**参照** からファイル指定できます。)



(3) 確認メッセージが表示されるので、よろしければ **はい** をクリックします。

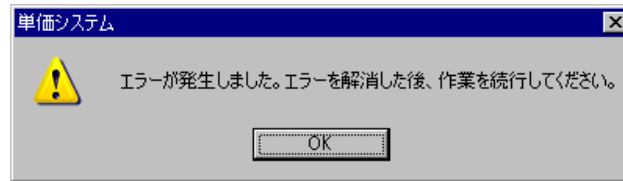


※CSV データ内に「」が含まれていた場合、「」を除去してデータ取込を行います。

※指定された取込ファイル名から建設物価調査会・経済調査会・特別調査を自動判定しメッセージが変わります。上図は建設物価調査会の場合のメッセージです。

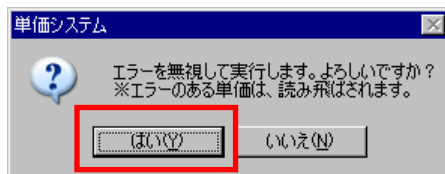
単価改定支援システム

新規追加される単価コードは、データを取り込む前に予めシステムに登録しておく必要があります。登録されていないデータがある場合は、警告メッセージ後にエラーリストが表示されます。



Err	単価コード	DB品目名	DB規格	単位	品目区分	資料地区コード	地
単価コードが登録されていません	DQ11010010	底面工 (港湾) [材工共]	底面工	m 2			
単価コードが登録されていません	DQ11020010	支保工 (港湾) ケーソン製作	海上打継用支保工 クレーン抜き	m			
単価コードが登録されていません	DQ11020020	支保工 (港湾) 上部工 [材工共]	重力式 クレーン抜き	m			
単価コードが登録されていません	DQ11020030	支保工 (港湾) 上部工 [材工共]	鋼矢板式 クレーン抜き	m			
単価コードが登録されていません	DQ11030010	足場工 (港湾) ケーソン製作	クレーン抜き 枠組足場 (手摺先行型)	m 2			
単価コードが登録されていません	DQ11030070	足場工 (港湾) ケーソン製作	クレーン抜き 内足場	m 2			
単価コードが登録されていません	DQ11030130	足場工 (港湾) 方塊製作	クレーン抜き 枠組足場 (手摺先行型)	m 2			
単価コードが登録されていません	DQ11030150	足場工 (港湾) セルラー・シ型	クレーン抜き 枠組足場 (手摺先行型)	m 2			

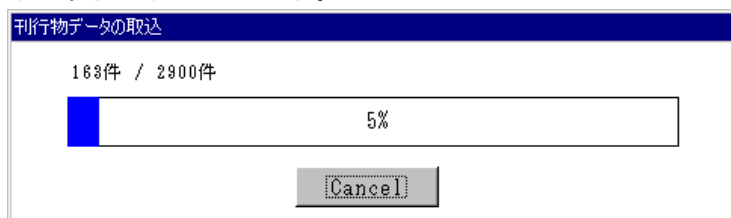
エラーを無視して実行するをクリックすると、処理続行の確認メッセージが表示されます。



確認メッセージの「はい」をクリックすると、エラー以外のデータの取込処理に進むことができます。

エラーリストの「戻る」をクリックすると取込処理を中止します。

(4) 取込状況が表示されます。



単価改定支援システム

※エラーがある場合はデータが取り込まれません。



エラー出力にてエラーリスト(Excel形式)を出力し、エラー内容を確認してください。

データ取込【2020年01月06日[01版]】

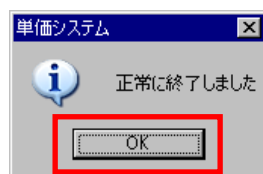
データ種類: JACICデータ **刊行物データ** CSVファイル 単価追加

取込ファイル: D:\chibaken_20200106\202001\刊行物データ\経済調査会\Kt参照

エラー出力

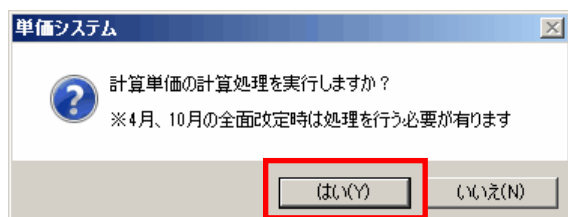
項目	内容
行数	エラー発生行数
データ内容	該当行の内容

(5) 取込み終了メッセージが表示されたら、**OK**をクリックします。



単価改定支援システム

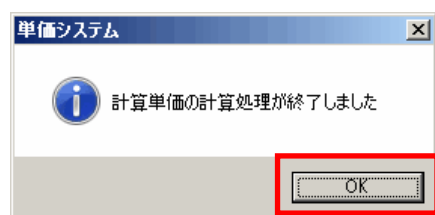
(6) 計算単価の自動実行を行うかの確認メッセージが表示されます。



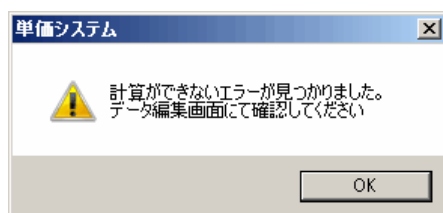
計算処理を行う場合には「はい」をクリックします。

「はい」を選択した場合には、計算単価の自動実行が行われます。

エラーが無ければメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。



※計算処理でエラーが発生した場合には、メッセージが表示されます。

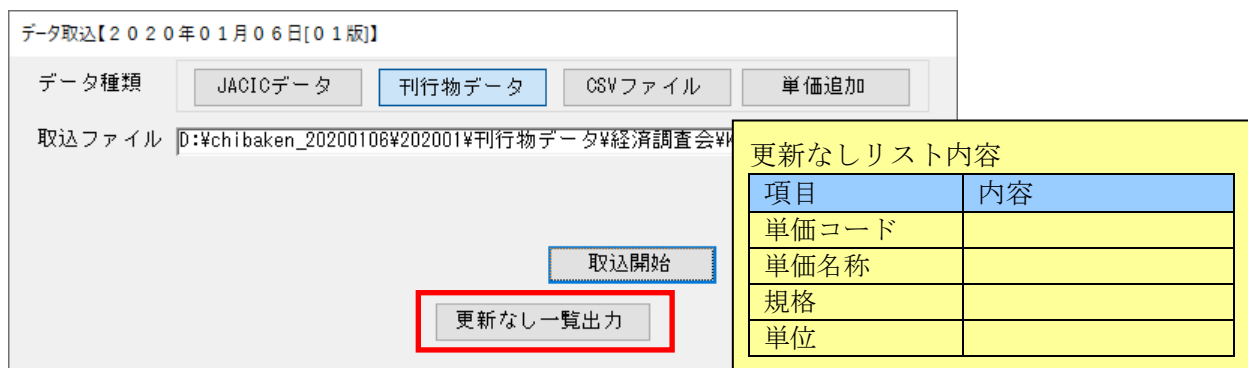


データ編集画面の計算単価よりエラー内容を確認し、エラー解消作業を行ってください。

(7) 取込後に下記に該当するデータがある場合は「更新なし一覧出力」が表示されます。

更新なしリスト(Excel形式)を出力し、内容を確認してください。

- 取込先世代で各刊行物単価が1円以上の単価金額が設定されている
 - ファイル名称が「T」から始まる特別調査 CSV ファイルの場合は、刊行物以外の単価金額に1円以上が設定されている
- 取込んだ刊行物 CSV ファイル上に存在しない単価コードの単価



以上で、刊行物データからの取込みは終了です。

単価改定支援システム

< 3. 1. 3 CSV ファイルの取込み >

CSV ファイルの取込みは、取込み項目を任意に指定して柔軟に行えるようになっています。

(1) データ種類で「CSV ファイル」を選択します。

データ取込【2020年01月06日[01版]】

データ種類: JACICデータ, 刊行物データ, **CSV ファイル**, 単価追加

取込ファイル: 参照

取込開始 戻る

(2) 取込ファイルを指定して「取込開始」をクリックします。(「参照」からファイル指定できます。)

データ取込【2020年01月06日[01版]】

データ種類: JACICデータ, 刊行物データ, **CSV ファイル**, 単価追加

取込ファイル: D:\chibaken_20200106\202001\特別調査会データ\tanka_20... 参照

取込開始 戻る

(3) ステップ 1 / 3 「取込みパターンの指定」

あらかじめ設定済みの取込みパターンを選択します。取込みパターンは、出力パターンと同じものを使用しています。

※「欄」に CSV ファイルの該当する文字(A～AZ)を入力することで、取込み先の項目が決定されます。取込みパターンを登録したい場合には、「登録」をクリックします。

単価システム - [取込] CSVデータ

ファイル(F) 編集(E) 挿入(I) レコード(R) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
分類	順番	コード	名称	規格	単位	地区コード	単価		
1010100	0	R0110	特殊運転手		人	0	18000		

データ取込【2008年04月01日[01版]】

< 前へ戻る **ステップ 1 / 3 取込みパターンの指定** 次へ進む >

(1) 取込みパターンを指定してください。
(2) 各項目に該当するシートの「欄」を指定してください
※単価コードと地区コードは、必須項目です
よろしければ、[次へ進む]をクリックしてください

取込みパターン: テスト1 見出し有り 登録

順番	項目名	欄
1	分類コード	A
2	順番	B
3	単価コード	C
4	単価名称	D
5	規格	E
6	単位	F
7	地区コード	G
8	改定額	H
※ 0		

CSV の欄を入力します。ここでは「改定額」に「単価」を割り当てるため、「H」と入力します。

単価改定支援システム

よろしければ、**次へ進む**をクリックします。

(4) ステップ2/3「取込み内容確認」

(3)で設定した取込みパターン通りに取込まれているか、内容を確認します。
よろしければ、**次へ進む**をクリックします。

単価システム - 取込んだCSVデータ

ファイル(F) 編集(E) 挿入(I) レコード(R) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

分類コード	順番	単価コード	単価名称	規格	単位	地区コード	改定額
1010100	0	R0110	特殊運転手		人	0	18000

データ取込【2008年04月01日 [01版]】

< 前へ戻る **ステップ2/3 取込み内容確認** **次へ進む >**

取込み内容は正しいですか？
よろしければ、[次へ進む]をクリックしてください

戻る

取込むことができないエラーが存在する場合、Err 欄に内容が赤文字で表示されます。
全ての Err がなくなったのを確認してから、**次へ進む**をクリックしてください。

単価システム - 取込んだCSVデータ

ファイル(F) 編集(E) 挿入(I) レコード(R) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

Err	分類コード	順番	単価コード
分類コードが全角です	1010100	0	R0110

単価システム

エラーが含まれています。
エラーを解消してから、[次へ進む]をクリックしてください

OK

単価システム - 取込んだCSVデータ

ファイル(F) 編集(E) 挿入(I) レコード(R) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

データ取込【2008年04月01日 [01版]】

< 前へ戻る **ステップ2/3 取込み内容確認** **次へ進む >**

エラーが含まれています。
エラーを解消してから、[次へ進む]をクリックしてください

表示対象 ☒ 全て表示 ☐ エラーのみ

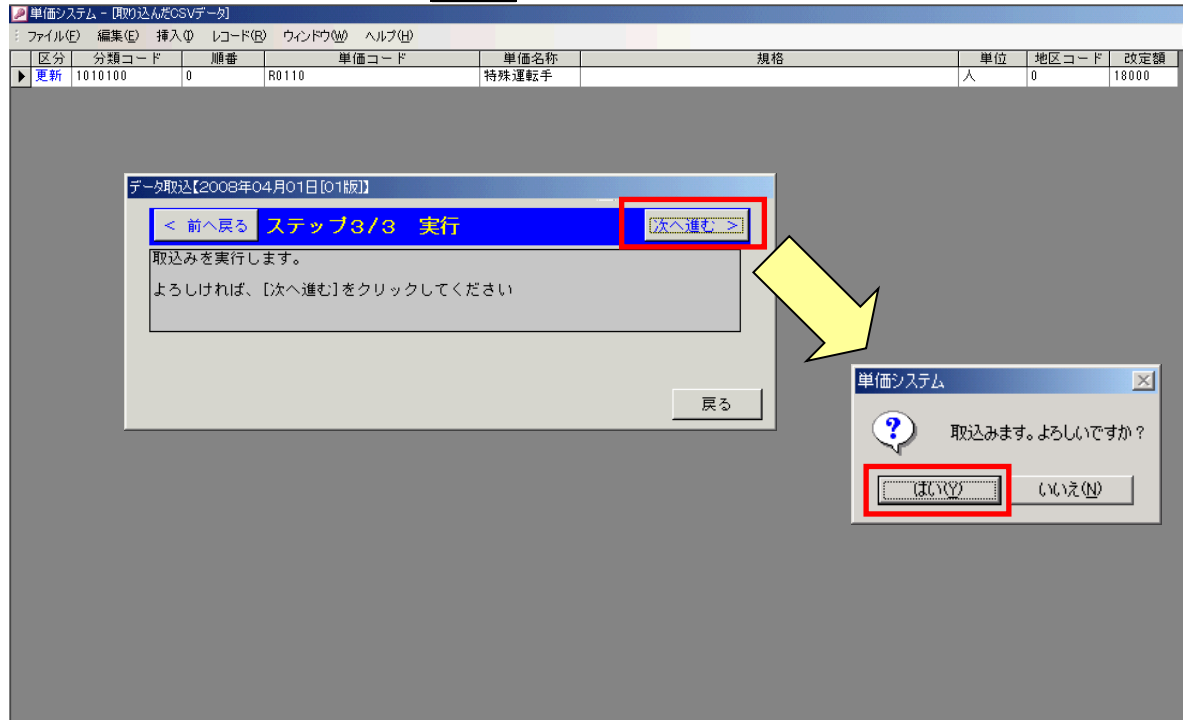
戻る

※表示対象の「エラーのみ」で、エラーのある単価だけを表示することができます

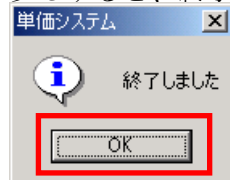
単価改定支援システム

(5) ステップ3/3 「実行」

取込む準備がすべて整いました。**次へ進む**をクリックします。
確認メッセージが表示されたら、**はい**をクリックします。

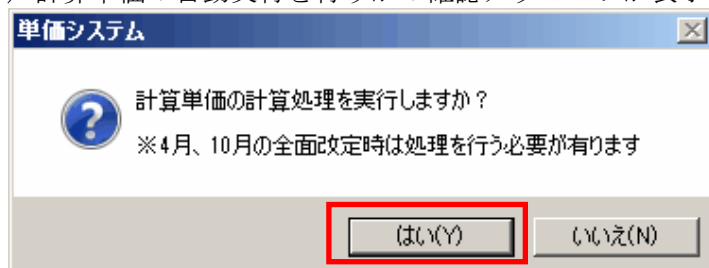


少しすると、終了メッセージが表示されます。**OK**をクリックします。



単価改定支援システム

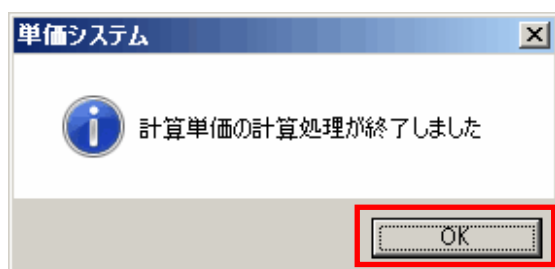
(6) 計算単価の自動実行を行うかの確認メッセージが表示されます。



計算処理を行う場合には「はい」をクリックします。

「はい」を選択した場合には、計算単価の自動実行が行われます。

エラーが無ければメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

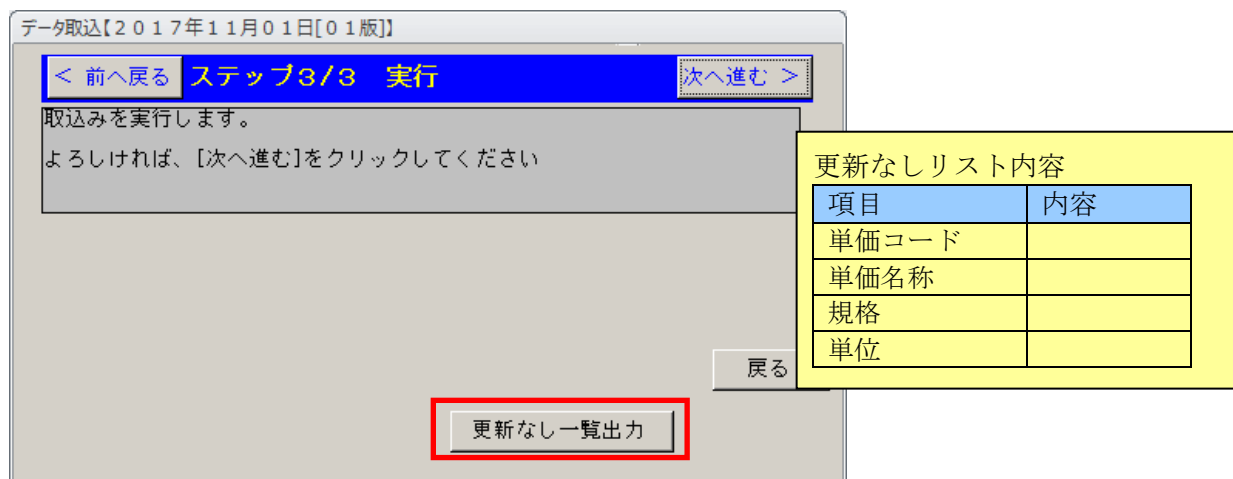


※計算処理でエラーが発生した場合には、メッセージが表示されます。

データ編集画面の計算単価よりエラー内容を確認し、エラー解消作業を行ってください。

(7) 取込後に「更新なし一覧出力」が表示されます。

取込んだファイルに存在しなかった単価リストが出力されるので、任意の場所及び名前で保存してください。



更新なし一覧に出力される条件は、下記に2条件を満たした単価になります。

- 取込先世代で刊行物以外が1円以上の単価金額が設定されている
- 取込んだCSVファイル上に存在しない単価コードの単価

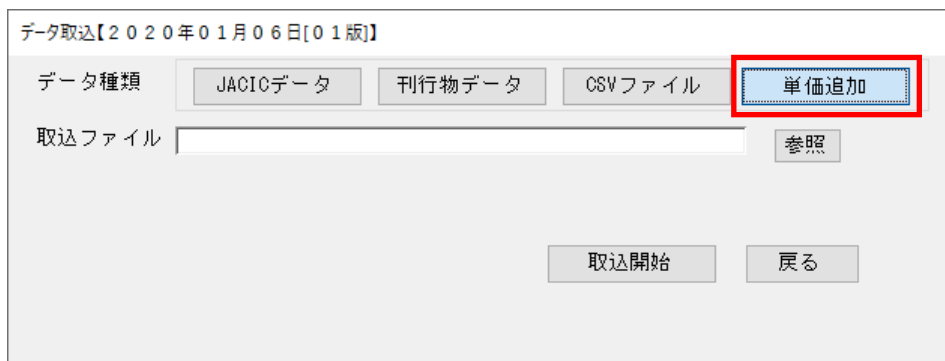
以上で、CSV ファイルからの取込みは終了です。

単価改定支援システム

< 3. 1. 4 単価追加データの取込み >

単価追加データを取込みます。

(1) データ種類で **単価追加** を選択します。



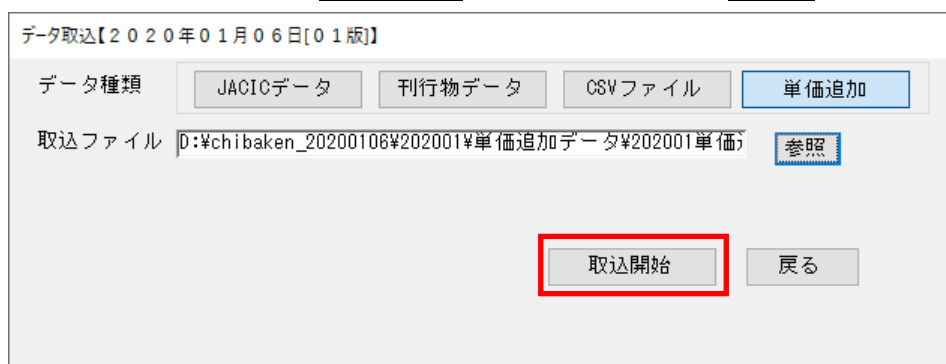
データ取込【2020年01月06日[01版]】

データ種類: JACICデータ 刊行物データ CSVファイル **単価追加**

取込ファイル: 参照

取込開始 戻る

(2) 取込ファイルを指定して **取込開始** をクリックします。(**参照** からファイル指定できます)



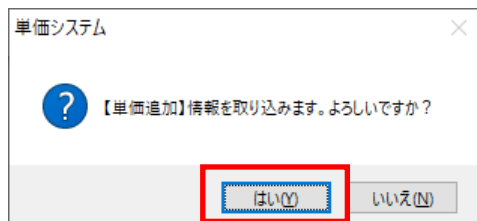
データ取込【2020年01月06日[01版]】

データ種類: JACICデータ 刊行物データ CSVファイル 単価追加

取込ファイル: D:\chibaken_20200106¥202001¥単価追加データ¥202001単価¥ 参照

取込開始 戻る

(3) 確認メッセージが表示されるので、よろしければ **はい** をクリックします。



単価システム

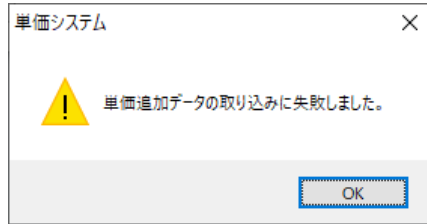
【?】 【単価追加】情報を取り込みます。よろしいですか？

はい(Y) いいえ(N)

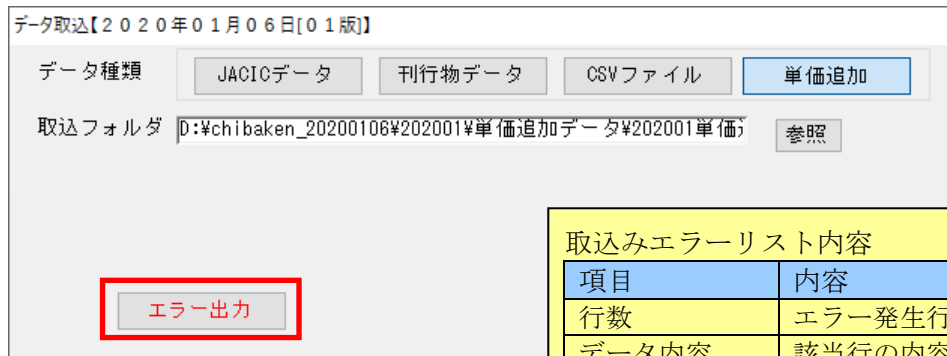
※CSV データ内に「”」が含まれていた場合、「”」を除去してデータ取込を行います。

単価改定支援システム

※エラーがある場合はデータが取り込まれません。



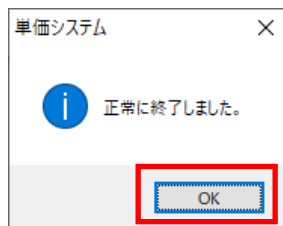
エラー出力にてエラーリスト(Excel形式)を出力し、エラー内容を確認してください。



取込みエラーリスト内容

項目	内容
行数	エラー発生行数
データ内容	該当行の内容

(5) 取込み終了メッセージが表示されたら、OKをクリックします。



単価改定支援システム

■ 3. 2. データ編集 ■

データの編集を行います。

①

検索・表示

分類コード

業種

大分類

出典

品目

改定

単価コード

単価名称

単位

規格

単価

表示設定

単価コード

分類コード

改定対象

参照

編集

全単価

地区単価

JACIC 全て表示

追加

修正

削除

単価全表示

当世代で削除のみ

未修正

全処理区分

改定対象のみ

JACIC

品目

査定

出典

改定

その他

単価コード	単価名称	単位	規格	単価	地区	品目区分	実質	査定単価	出典	建設単価	積算単価	刊行物区分
IH3150000	変化率			0								
IH3160000	補正係数			0								
L001005001	ブルドーザ	普通	3 t 級	日	0		実	3,900.	刊行物	3,900.	3,900.	
L001005006	ブルドーザ[湿地]	7 t 級		日	0		実		刊行物	5,980.	6,045.	
L001005009	ブルドーザ[湿地]	16 t 級		日	0		実		刊行物	14,300.	13,780.	
L001010001	バックホウ	【クローラ型】山積0.5m3 (平積0.4m3)		日	0		実	6,170.	刊行物	6,110.	6,240.	
L001010002	バックホウ	【クローラ型】山積0.28m3 (平積0.2m3)		日	0		実	4,970.	刊行物	4,745.	5,200.	
L001010003	バックホウ	【クローラ型】山積0.45m3 (平積0.35m3)		日	0		実	5,420.	刊行物	5,330.	5,525.	
L001010004	バックホウ	【クローラ型クレーン付】 山積0.8m3吊2.9t		日	0		実	9,840.	刊行物	9,750.	9,945.	
L001010005	バックホウ	【クローラ型クレーン付】 山積0.45m3吊2.9t		日	0		実	6,430.	刊行物	6,435.	6,435.	
L001010006	バックホウ	【クローラ型・超小旋回型】山積0.28m3		日	0		実	6,240.	刊行物	6,175.	6,305.	
L001010007	バックホウ	【クローラ型】山積0.8m3 (平積0.6m3)		日	0		実	8,800.	刊行物	8,450.	9,165.	

コード変更

単価複製

地区単価追加

削除

削除解除

追加

計算単価

改定対象設定

保存

戻る

No	項目	説明
①	「検索・表示」欄	明細に表示する単価を分類、単価コード、名称などで抽出します。 また、単価項目（JACIC 項目、出典区分、改正時期など）の表示/非表示、並び順（単価コード、分類コード）などの操作を行います。
②	「明細」欄	①で抽出された単価の一覧を表示します。 ここで選択した単価に対して、③の機能を実行することができます。
③	「コマンド」欄	②で選択した単価に対して、コード変更や削除などの処理を実行することができます。

※各枠内の詳細を次ページから説明します

20

単価改定支援システム

< 3. 2. 1 データ編集 検索・表示欄 >

明細に表示する単価の抽出、項目欄の表示/非表示、並び順などの設定を行うことができます。

	No	項目	説明
検索・絞込み	①	大分類 中分類 小分類 分類コード	選択した大分類、中分類、小分類、分類コードで抽出します。
	②	出典 品目 改定	出典区分により明細を抽出します。 品目区分により明細を抽出します。 改定時期により明細を抽出します。
	③	単価コード	単価コードで抽出します。
	④	単価名称	入力した文字が単価名称に含まれている単価を抽出します。
	⑤	絞込	①～③の条件に合う単価に絞込みます。
	⑥	検索	明細に表示されている単価から、②又は③の条件に合う単価を検索します。
	⑦	クリア	①～④をクリアします。
表示設定	⑧	全単価 地区単価	全単価を選択すると、すべての単価が表示されます（初期値）。 地区単価を選択すると、地区単価のみ抽出します。
	⑨	JACIC	選択した値（全て表示・JACIC と異なる・県単独）により、抽出します。
	⑩	抽出区分	単価の処理区分（追加・修正・削除(全て)・削除(当世代)・未修正・改定対象のみ）により、抽出します。
	⑪	JACIC	JACIC 関係欄の表示/非表示を切り替えます。
	⑫	品目	品目区分欄の表示/非表示を切り替えます。
	⑬	査定	査定単価関係欄の表示/非表示を切り替えます。
	⑭	出典	出典関係欄の表示/非表示を切り替えます。
	⑮	改定	改定時期欄の表示/非表示を切り替えます。
	⑯	その他	その他の項目欄の表示/非表示を切り替えます。
並び順	⑰	並び順	明細の並び順を、単価コード順、又は、分類コード順にします。 ※分類コード順の場合、「分類コード」、「順番」で並びます。 単価コードでは希望通りに並ばない場合に使用してください。
編集	⑱	改定対象	改定対象の編集または参照を切り替えます。

単価改定支援システム

< 3. 2. 2 データ編集 明細欄・一覧項目 >

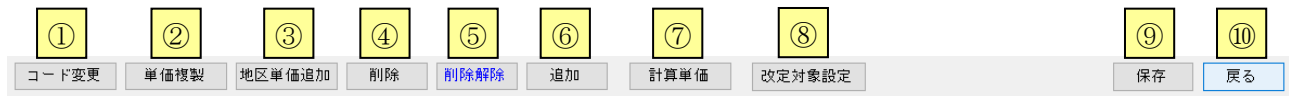
○・・・編集可
 ×・・・編集不可：灰色で表示されます。
 △・・・他の欄で選択した値により編集不可になります。

No	項目	説明	編集可否
1	処理区分	該当単価の処理状態が表示されます。追加・削除・修正・空白（未修正）	×
2	単価コード	単独単価は、青文字で表示されます。	×
3	単価名称	JACIC データを編集した場合、文字色が黒から赤に変わります。	○
4	規格		○
5	単位		○
6	構成比		○
7	JACIC 名称	JACIC データの場合に表示されます。	×
8	JACIC 規格		×
9	JACIC 単位		×
10	JACIC 構成比		×
11	JACIC 製品区分		×
12	JACIC 地区区分		×
13	地区	地区単価の場合、地区名が表示されます。（設定：4. 2「地区コード管理」）	×
14	出典	単価の根拠となる出典を選択します。（設定：4. 4「出典区分管理」）	○
15	建設物価	14. 出典で「刊行物」選択時に入力できます。	△
16	積算資料		△
17	刊行物以外	14. 出典で「刊行物」以外を選択時に入力できます。	△
18	平均額	建設物価と積算資料入力後に自動計算で平均額が算出されます。	×
19	改定額	「刊行物以外」又は「平均額」に金額が入ると、改定額に反映されます。	×
20	変動率	前回単価と改定額により、自動的に計算されます。	×
21	前回単価	前世代の単価を表示します。	×
22	最終更新年月（改定額）	「改定額」・「処理区分」が改定された最終年月を登録します。	×
23	積算資料号数	単価の出典元の情報を登録します。	△
24	積算資料頁		△
25	積算資料 DB コード	14. 出典で「刊行物」選択時に、積算資料・建設物価関連項目が登録できます。	△
26	建設物価号数	14. 出典で「刊行物」以外を選択時に、「刊行物以外出典」を登録できます。	△
27	建設物価頁		△
28	建設物価 DB コード		△
29	刊行物以外出典		△
30	4 月	単価の改正時期をチェックします。	○
31	5 月		○
32	6 月		○
33	7 月		○
34	8 月		○
35	9 月		○
36	1 0 月		○
37	1 1 月		○
38	1 2 月		○
39	1 月		○
40	2 月		○
41	3 月		○
42	品目区分	品目区分を選択します。（設定：4. 3「品目区分管理」）	○
43	非公開フラグ	非公開フラグを選択します。（設定：4. 5「非公開フラグ」）	○
44	非公開理由	非公開理由を選択します。（設定：4. 6「非公開理由」）	○
45	機労材集計区分	機労材集計区分を登録します。	○
46	変更後コード	変更後の単価コードを、変更元の単価に登録します。	×
47	変更理由	変更理由を選択します。（設定：4. 7「変更理由」）	○
48	備考	メモ書きに利用できます。	○
49	単価種別	「労務」か「材料」を選択します。	○
50	分類コード	分類を選択します。（設定：3. 3「分類管理」）	○
51	順番	並び順が「分類コード」選択時、「分類コード」、「順番」で並び替えされます。	○
52	改定品目区分	主要品目、その他を指定します。	○
53	改定対象	変動率と改定品目区分から、改定対象が自動判別した結果が表示されます。	×

単価改定支援システム

< 3. 2. 3 データ編集 コマンド欄 >

コード変更や削除などの処理を実行します。



No

項目・操作方法

①

コード変更

 ... 明細で選択された単価コードを変更します。

(1) 明細でコード変更したい単価を選択し、

コード変更

をクリックします。
※複数選択して一括変更することもできます。又、何も選択しないで変更画面を表示することもできます。

(2) 変更前、変更後のコードが正しいのを確認して、

コード変更実行

をクリックします。

コード変更

変更前	変更後	エラー内容
R0001	R0200	
Z0000001	Z0001	
*		

レコード: 1 / 2

コード変更実行

クリア

戻る

(3) 確認メッセージが表示されるので、

はい

をクリックします。

単価システム

?

2件のコード変更を行います。よろしいですか？

はい(Y)

いいえ(N)

②

単価複製

 ... 明細で選択された単価を複製します。

(1) 明細で複製したい単価を選択し、

単価複製

をクリックします。

(2) 複製先の単価コードを入力して、

OK

をクリックします。

単価複製

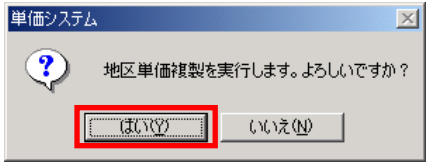
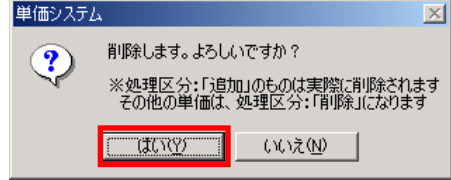
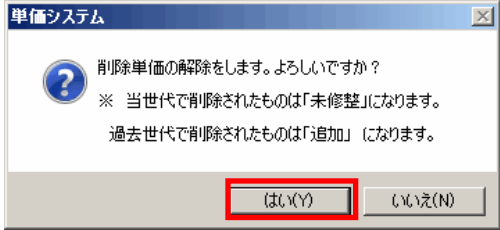
複製先の単価コードを入力してください。

OK

キャンセル

R0300

単価改定支援システム

No	項目・操作方法
③	<p>地区単価複製 …… 明細で選択された単価を地区単価にします。</p> <p>(1) 明細で地区単価にしたい単価を選択し、地区単価複製をクリックします。</p> <p>(2) 確認メッセージが表示されるので、はいをクリックします。</p> 
④	<p>削除 …… 明細で選択された単価を削除単価に設定します。</p> <p>(1) 明細で削除したい単価を選択し、削除をクリックします。</p> <p>(2) 確認メッセージが表示されるので、はいをクリックします。</p>  <p>※[処理区分：追加]の単価は、実際に削除されます。 [処理区分：削除]になった単価は、実際に削除されることは無く、次世代へ削除のまま引き継がれます。</p>
⑤	<p>削除解除 …… 明細で選択された削除単価を解除します。</p> <p>(1) 明細で解除したい削除単価を選択し、削除解除をクリックします。</p> <p>(2) 確認メッセージが表示されるので、はいをクリックします。</p>  <p>※解除された単価は、削除が行われた世代により、区分が異なります。 当世代で削除したものを解除した場合 …… 「未修整」 過去世代で削除したものを解除した場合 …… 「追加」</p>
⑥	<p>追加 …… データ編集画面最下行の新規追加行へ移動します。</p>

単価改定支援システム

No

項目・操作方法

⑦

計算単価

… 金額を参照する別単価がある場合、対応表により自動計算することができます。

(1)

計算単価

をクリックします。

(2)

計算単価画面が表示されるので、必要事項を登録して

計算実行

をクリックします。

計算実行

地区単価を指定した場合は、計算を実行しても単価・元単価・計算結果は表示されません。
編集画面にて計算結果を確認してください。

単価コード

単価

=

元コード

元単価

符号

補正コード

補正単価

計算結果

エラー内容

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

Excel出力

計算実行

戻る

⑪

⑩

⑫

No	項目	説明
①	単価コード	他の単価から、金額を自動計算したい単価コードを登録します。
②	単価	
③	元コード	参照したい単価のコードを登録します。
④	元単価	参照元の単価
⑤	符号	参照元の単価に対して、金額を増減したい場合に、符号(+, -)を登録します。
⑥	補正コード	参照元の単価に対して、増減させた金額が設定されている単価を指定します。 符号が設定されている場合のみ入力可能です。
⑦	補正単価	補正コードで登録された単価の金額を表示します。
⑧	計算結果	計算実行した後の結果です。
⑨	エラー内容	計算実行した後に、エラーがある場合に表示されます。
⑩	計算実行	計算します。
⑪	Excel 出力	計算単価画面内容を Excel 出力します。
⑫	戻る	データ編集画面に戻ります。

(3)

計算処理が終わったら

OK

をクリックします。

単価システム

計算処理が終了しました

OK

(4)

計算結果を反映させるには、

戻る

をクリックしてデータ編集画面に戻ります。

単価システム

計算結果を反映しますか？

はい(Y)

いいえ(N)

キャンセル

⑧

改定対象設定

… 変動率と改定品目区分から改定対象となるか自動判別を行ない、改定対象に結果を反映します。

単価システム

改定対象区分を設定します。
よろしいですか？

はい(Y)

いいえ(N)

項目	説明
はい	自動判別を実行します。
いいえ	処理を中止します。

改定対象設定を行うか確認メッセージが表示されます。

⑨

保存

… 作業中の状態を保存します。

保存前に保存確認のメッセージが表示されます。

単価システム

登録内容を保存しますか？

はい(Y)

いいえ(N)

項目	説明
はい	変更内容を保存して、メインメニューに戻ります。
いいえ	変更内容を破棄して、メインメニューに戻ります。

計算単価の自動実行を行うか確認メッセージが表示されます。

単価改定支援システム

⑩

戻る

 ... メインメニューに戻ります。

変更があった場合には、保存確認のメッセージが表示されます。

単価システム

?

登録内容を保存しますか？

はい(Y)

いいえ(N)

キャンセル

項目	説明
はい	変更内容を保存して、メインメニューに戻ります。
いいえ	変更内容を破棄して、メインメニューに戻ります。
キャンセル	データ編集画面に戻ります。

※明細で選択している単価が削除単価の場合には、⑤のみ実行できます。

単価改定支援システム

< 3. 2. 4 データ編集 ショートカットメニュー >

データ編集画面で右クリックするとショートカットメニューが表示されます。

①	コピー
②	貼り付け
③	コード変更
④	単価複製
⑤	地区単価追加
⑥	削除
⑦	削除解除
⑧	追加

No	項目	説明
①	コピー	選択された箇所をコピーします
②	貼り付け	コピーされている内容を貼り付けます
③	コード変更	コマンド欄の コード変更 と同様です
④	単価複製	コマンド欄の 単価複製 と同様です
⑤	地区単価追加	コマンド欄の 地区単価複製 と同様です
⑥	削除	コマンド欄の 削除 と同様です
⑦	削除解除	コマンド欄の 削除解除 と同様です
⑧	追加	コマンド欄の 追加 と同様です

単価改定支援システム

■ 3. 3. 分類管理 ■

< 3. 3. 1 分類管理 >

分類コードの設定を行います。

No	項目	説明
①	処理選択	実行したい処理を選択します。 分類コード設定・・・分類登録・削除、単価に分類設定ができます。 分類名称修正・・・③欄内において、分類名称を直接修正できます。 分類コード間移動・・・単価の分類コードを変更することができます。
②	分類による抽出	分類の種類（大分類、中分類、小分類）の選択、「分類名称」を入力することにより、絞込することができます。
③	分類の一覧	分類コードの一覧が表示されます。登録したい分類行をダブルクリックすることで、選択した分類コードが④へ表示されます。
④	選択分類欄	③で選択された分類コードが表示されます。
⑤	分類登録	④で表示している分類を登録します。
⑥	分類削除	④で表示している分類を削除します。
⑦	改定品目区分	改定品目区分管理画面へ移動します。
⑧	未設定単価一覧	分類コードが登録されていない単価の一覧を表示します。
⑨	>	④に表示されている分類コードに、⑦で選択した単価を設定します。
⑩	>>	④に表示されている分類コードに、⑦の単価をすべて設定します。
⑪	<	⑫で選択した単価から、分類コードの設定を削除します。
⑫	<<	⑫の単価をすべて、分類コードの設定を削除します。
⑬	設定済単価一覧	④で表示している分類コードが登録されている単価の一覧を表示します。
⑭	戻る	メインメニューに戻ります。 ※変更があった場合には、保存確認のメッセージが表示されます。

※分類「99000000 JACIC 追加分」は、JACIC データで追加された単価データのうち、県で使用しない単価データを管理しておく特殊な分類です。この分類は削除しないよう注意してください。

単価改定支援システム

< 3. 3. 2 分類管理 >

改定品目区分の管理を行います。

コード	名称
1	主要品目 (5%以上)
* 0	

① ②

戻る ③

No	項目	説明
①	コード	「改定品目区分」を登録します。 ※同一コードは、登録できません。 ※未登録は「その他品目 (10%以上)」となります。
②	名称	「改定品目」を登録します。
③	戻る	分類管理に戻ります。 ※変更があった場合には、保存確認のメッセージが表示されます。

※ここで設定した内容が、分類管理画面の「改定品目区分」に反映されます。

改定品目区分

主要品目 (5%以上)

単価改定支援システム

■ 3. 4. データ出力 ■

改定作業（データ編集・分類管理）が終了したデータの出力を行います。

No	項目	説明
①	データ種類	出力するデータの種類を選択します。 ベンダー用「CSV」、「XML」、「ESTIMA(新)」、「ESTIMA(旧)」 内部用「協議会資料」「積算基準(内部用)」「積算基準(公開用)」
②	出力フォルダ (ファイル)	出力先のフォルダ（又はファイル）を指定します。 ※③参照 ボタンから簡単に指定することができます。
③	参照	出力先のフォルダ（又はファイル）を指定するダイアログを表示します。
④	出力開始	出力処理を開始します。
⑤	戻る	メインメニューに戻ります。

※内部用「協議会資料」「積算基準(内部用)」「積算基準(公開用)」の出力には、システム利用 PC 内に EXCEL がインストールされている必要があります。

また、出力先のフォルダは、EXCEL のマクロの実行が許可されている必要があります。EXCEL のオプションにて、信頼できる場所に出力先フォルダを登録してください。

単価改定支援システム

< 3. 4. 1 CSV データ出力 >

データ種類で「CSV」を選択すると、出力項目や抽出条件、並び順などを任意に指定してデータ出力することができます。目次、統一単価、地区単価の3つのファイルで出力され、統一単価は「YYYYMMDDNNTanka.csv」、地区単価は「YYYYMMDDNN ChikuTanka.csv」、目次は「YYYYMMDDNN Mokuji.csv」というファイル名になります。(YYYYMMDD：適用日、NN：版数)

No	項目	説明
①	データ種類	CSV を選択すると、上記画面が表示されます。
②	出力フォルダ	出力先のフォルダを指定します。
③	参照	出力先のフォルダを指定するダイアログを表示します。
④	出力パターン名	出力するパターンを選択します。
⑤	クリア	出力するパターン指定項目を初期化します。
⑥	見出し出力	見出し（分類名称）を出力するかどうかを設定します。
⑦	目次出力	目次を出力するかどうかを設定します。見出し出力する場合のみ目次出力が可能です。 ページ数は標準(縦)の1ページ行数で求めます（地区単価は対象外）。
⑧	地区の出力方向	地区単価の出力様式（縦書式・横書式）を選択します。
⑨	1 ページ	単価
⑩	行数	地区単価
⑨	単価	1 ページ当りの行数を登録します。単価・地区単価(縦書式)
⑩	地区単価	1 ページ当りの行数を登録します。地区単価(横書式)
⑪	出力設定領域	(次ページに記述します)
⑫	データ確認	データ確認画面を表示します。
⑬	登録	設定した出力パターンを次回以後も使えるように登録します。
⑭	出力開始	出力処理を開始します。
⑮	戻る	メインメニューに戻ります。

単価改定支援システム

【出力設定領域】

<出力項目>

出力項目			抽出条件	並び順
順番	項目名	出力時タイトル		
1	分類コード	分類		
2	順番	順番		
3	単価コード	コード		
4	単価名称	名称		
5	規格	規格		
6	単位	単位		
7	地区コード			
* ① ② ③				

No	項目	内容
①	順番	出力する項目の並び順（左から何番目か）を指定します。 ※同一番号は、登録できません。
②	項目名	出力する項目を設定します。
③	出力時タイトル	出力時のタイトルを変更したい場合（任意）に設定します。

※下表の項目名の場合、改正状況により出力内容が異なります。

項目名	内容
前回名称	改正が有った場合は、前世代の名称を出力する。 改正が無かった場合は「―」。未入力空欄。
前回規格	改正が有った場合は、前世代の規格を出力する。 改正が無かった場合は「―」。未入力空欄。
前回単位	改正が有った場合は、前世代の単位を出力する。 改正が無かった場合は「―」。未入力空欄。

単価改定支援システム

< 抽出条件 >

出力項目			
抽出条件			
並び順			
優先順位	項目名	比較演算子	値
1	分類コード	等しい	1010201
0			
①	②	③	④

No	項目	内容
①	優先順位	抽出条件の優先順位を指定します。 ※同一番号は、登録できません。
②	項目名	出力する項目を設定します。
③	比較演算子	比較内容を登録します。 (等しい、等しくない、より少ない、以下、以上、より大きい)
④	値	比較対象となる値を設定します。

< 並び順 >

出力項目		
抽出条件		
並び順		
優先順位	項目名	並び順
1	分類コード	昇順
2	順番	昇順
3	単価コード	昇順
0		
①	②	③

No	項目	内容
①	優先順位	並び順の優先順位を指定します。 ※同一番号は、登録できません。
②	項目名	出力する項目を設定します。
③	並び順	②で選択した項目の並び方を昇順か降順かで選択します。

単価改定支援システム

< 3. 4. 2 XMLデータ出力 >

データ出力で「XML」を選択すると、XML形式で労務単価、材料単価、単価（改定額）を出力することができます。

(1) データ種類の「XML」をクリックします。

(2) 出力フォルダを指定して、「出力開始」をクリックします。（「参照」からフォルダ指定できます）

(3) 確認メッセージが表示されるので、よろしければ、「はい」をクリックします。

(4) 少しすると、出力処理が終了します。

労務単価、材料単価、単価の件数、出力先を確認して「OK」をクリックします。

出力ファイル名

労務単価	Roumu_zokusei.xml
材料単価	Zairyo_zokusei.xml
単価	UnitPrice.xml

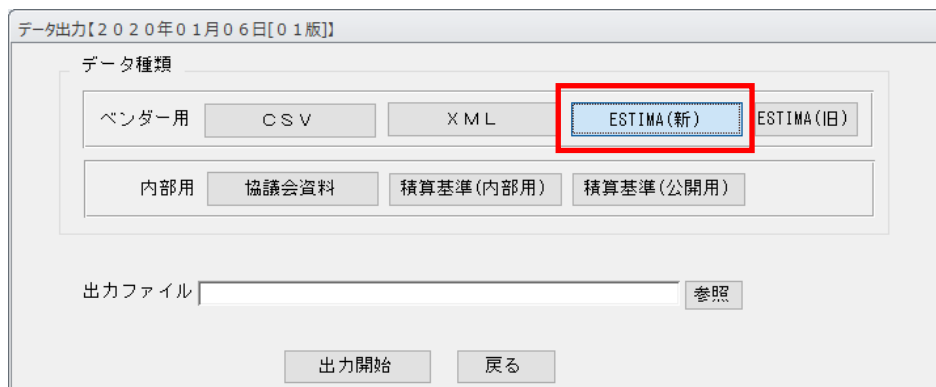
以上で、XMLデータ出力は終了です。

単価改定支援システム

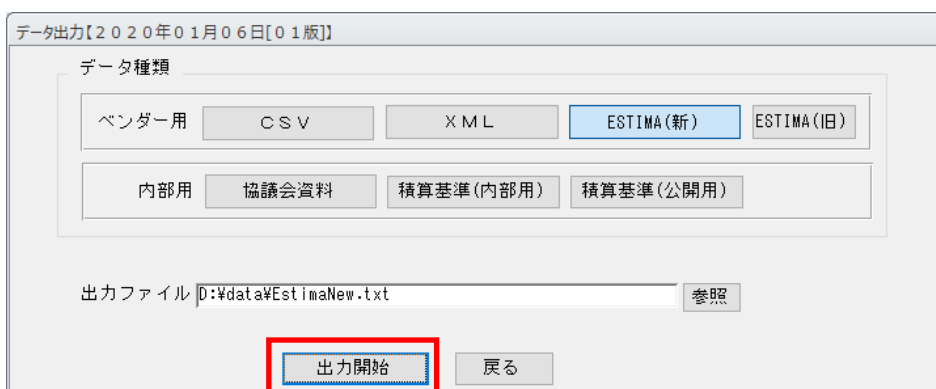
< 3. 4. 3 ESTIMA(新) データ出力 >

データ種類で「ESTIMA(新)」を選択すると、ESTIMA(新)形式でデータを出力することができます。

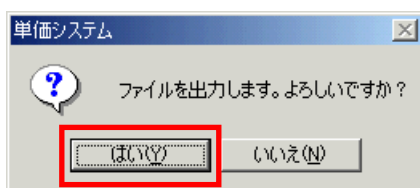
(1) データ種類の「ESTIMA(新)」をクリックします。



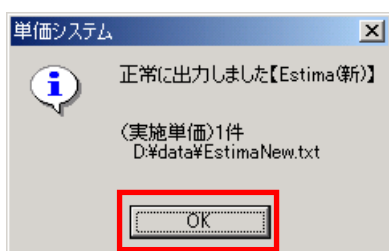
(2) 出力ファイルを指定して、「出力開始」をクリックします。(「参照」からファイル指定できます)



(3) 確認メッセージが表示されるので、よろしければ、「はい」をクリックします。



(4) 少しすると、出力処理が終了します。
件数、出力先を確認して「OK」をクリックします。



単価改定支援システム

< 3. 4. 4 ESTIMA (旧)データ出力 >

データ種類で「ESTIMA (旧)」を選択すると、ESTIMA (旧)形式でデータを出力することができます。

(1)データ種類の「ESTIMA (旧)」をクリックします。

(2)出力ファイルを指定して、「出力開始」をクリックします。(「参照」からファイル指定できます)

(3)確認メッセージが表示されるので、よろしければ、「はい」をクリックします。

(4)少しすると、出力処理が終了します。
件数、出力先を確認して「OK」をクリックします。

※分類「99000000 JACIC 追加分」の単価は、出力されません。

単価改定支援システム

< 3. 4. 5 協議会資料 EXCEL 出力 >

データ種類で「協議会資料」を選択すると、定型様式にデータを反映した EXCEL ファイル(*.xslsm)を出力することができます。

(1)データ種類の「協議会資料」をクリックします。

データ出力【2020年01月06日[01版]】

データ種類

ベンダー用 CSV XML ESTIMA(新) ESTIMA(旧)

内部用 協議会資料 積算基準(内部用) 積算基準(公開用)

出力ファイル 参照

出力開始 戻る

(2)出力フォルダを指定して、「出力開始」をクリックします。(「参照」からファイル指定できます)
※出力先のフォルダは、EXCEL のマクロの実行が許可されている必要があります。

データ出力【2020年01月06日[01版]】

データ種類

ベンダー用 CSV XML ESTIMA(新) ESTIMA(旧)

内部用 協議会資料 積算基準(内部用) 積算基準(公開用)

出力ファイル D:\data\協議会資料.xslsm 参照

出力開始 戻る

(3)確認メッセージが表示されるので、よろしければ、「はい」をクリックします。

単価システム

? ファイルを出力します。よろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

(4)少しすると、出力処理が終了します。
出力先を確認して「OK」をクリックします。

単価システム

i 正常に出力しました

【協議会資料】
(出力先) D:\data\協議会資料.xslsm

OK

※分類「99000000 JACIC 追加分」の単価は、出力されません。

単価改定支援システム

< 3. 4. 6 積算基準（内部用）EXCEL 出力 >

データ種類で「積算基準（内部用）」を選択すると、定型様式にデータを反映した EXCEL ファイル (*.xlsm) を出力することができます。

(1) データ種類の「積算基準（内部用）」をクリックし、出力範囲を指定します。

データ出力【2020年01月06日[01版]】

データ種類

ベンダー用 CSV XML ESTIMA(新) ESTIMA(旧)

内部用 協議会資料 積算基準(内部用) 積算基準(公開用)

出力範囲 ☐ 全件 ☒ 改定対象のみ

出力ファイル 参照

出力開始 戻る

(2) 出力フォルダを指定して、「出力開始」をクリックします。（「参照」からファイル指定できます）
※出力先のフォルダは、EXCEL のマクロの実行が許可されている必要があります。

データ出力【2020年01月06日[01版]】

データ種類

ベンダー用 CSV XML ESTIMA(新) ESTIMA(旧)

内部用 協議会資料 積算基準(内部用) 積算基準(公開用)

出力範囲 ☐ 全件 ☒ 改定対象のみ

出力ファイル D:\data\積算基準内部用.xlsm 参照

出力開始 戻る

(3) 確認メッセージが表示されるので、よろしければ、「はい」をクリックします。

単価システム

? ファイルを出力します。よろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

(5) 少しすると、出力処理が終了します。
出力先を確認して「OK」をクリックします。

単価システム

i 正常に出力しました

【積算基準(内部用)】
(出力先) D:\data\積算基準内部用.xlsm

OK

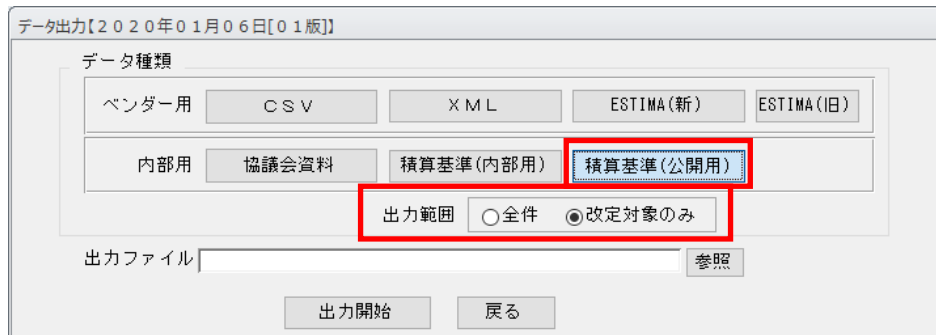
※分類「99000000 JACIC 追加分」の単価は、出力されません。

単価改定支援システム

< 3. 4. 7 積算基準（公開用）EXCEL 出力 >

データ種類で「積算基準（公開用）」を選択すると、定型様式にデータを反映した EXCEL ファイル (*.xlsm) を出力することができます。

(1) データ種類の「積算基準（公開用）」をクリックし、出力範囲を指定します。



データ出力【2020年01月06日[01版]】

データ種類

ベンダー用 CSV XML ESTIMA(新) ESTIMA(旧)

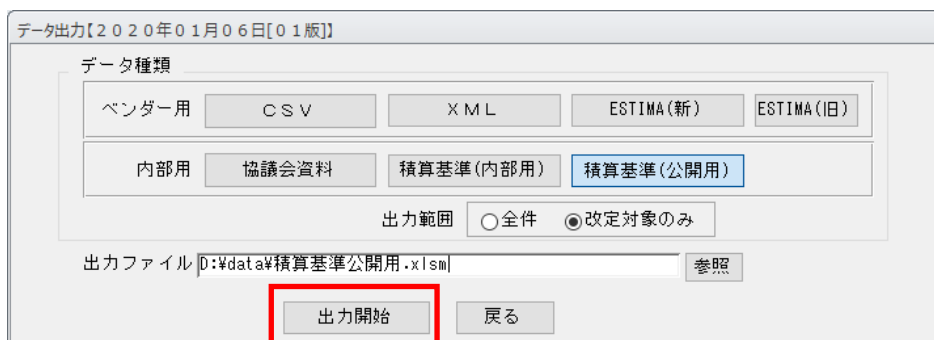
内部用 協議会資料 積算基準(内部用) 積算基準(公開用)

出力範囲 ☐ 全件 ☒ 改定対象のみ

出力ファイル 参照

出力開始 戻る

(2) 出力フォルダを指定して、「出力開始」をクリックします。（「参照」からファイル指定できます）
※出力先のフォルダは、EXCEL のマクロの実行が許可されている必要があります。



データ出力【2020年01月06日[01版]】

データ種類

ベンダー用 CSV XML ESTIMA(新) ESTIMA(旧)

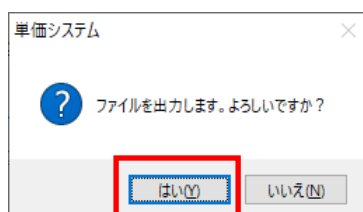
内部用 協議会資料 積算基準(内部用) 積算基準(公開用)

出力範囲 ☐ 全件 ☒ 改定対象のみ

出力ファイル D:\data\積算基準公開用.xlsm 参照

出力開始 戻る

(3) 確認メッセージが表示されるので、よろしければ、「はい」をクリックします。

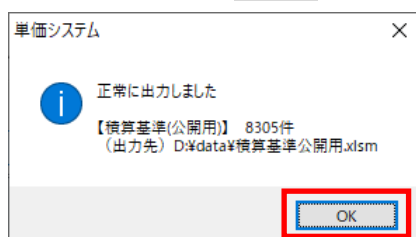


単価システム

? ファイルを出力します。よろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

(4) 少しすると、出力処理が終了します。
出力先を確認して「OK」をクリックします。



単価システム

i 正常に出力しました

【積算基準(公開用)】 8305件
(出力先) D:\data\積算基準公開用.xlsm

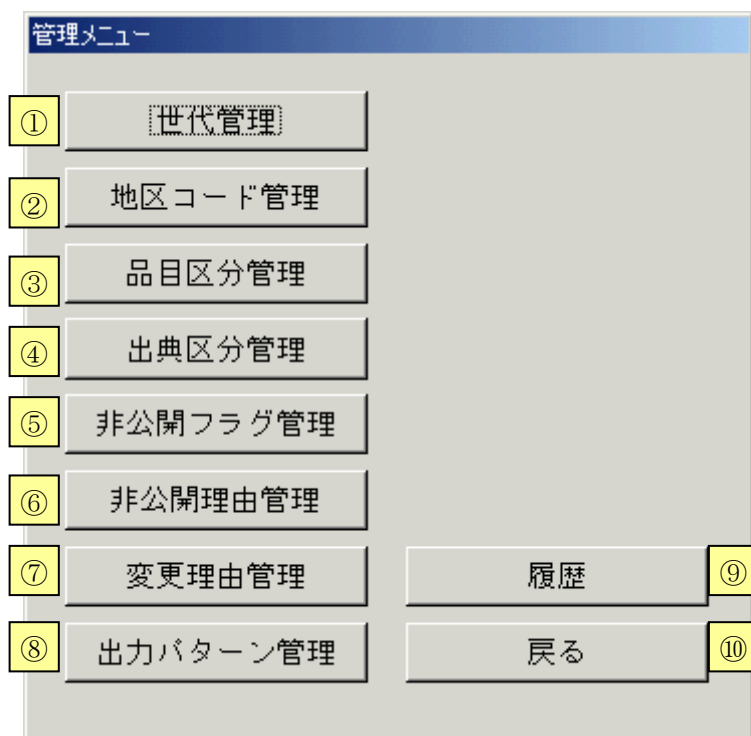
OK

※分類「99000000 JACIC 追加分」の単価は、出力されません。

単価改定支援システム

■ 4. 管理メニュー ■

コード表などの管理を行います。



No	項目	説明	説明頁
①	世代管理	世代管理画面を開きます。	26
②	地区コード管理	地区コード管理画面を開きます。	27
③	品目区分管理	品目区分管理画面を開きます。	31
④	出典区分管理	出典区分管理画面を開きます。	32
⑤	非公開フラグ管理	非公開フラグ管理画面を開きます。	33
⑥	非公開理由管理	非公開理由管理画面を開きます。	34
⑦	変更理由管理	変更理由管理画面を開きます。	35
⑧	出力パターン管理	出力パターン管理画面を開きます。	36
⑨	履歴	履歴画面を開きます。	38
⑩	戻る	スタートメニューに戻ります。	

単価改定支援システム

■ 4. 1. 世代管理 ■

改定世代を管理する画面です。

適用日	版	前世代年月	コメント	作成日
2008/04/01	01			2008/04/01
▶ 2008/07/01	01	2008/04/01		2008/07/01

① ② ③ ④

⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

新規世代作成 削除 バックアップ リカバリー 戻る

No	項目	説明
①	適用日・版	改定世代の年月日、版を表示します。
②	前世代年月	改定世代のコピー元となった年月日を表示します。
③	コメント	改定世代についてのコメントを直接編集することができます(任意)。
④	作成日	改定世代を作成した年月日を表示します。
⑤	新規世代作成	新しい改定世代を作成します。(2.1 新規改定作業開始)
⑥	削除	改定世代を削除します。
⑦	バックアップ	改定世代をファイルにバックアップをします。
⑧	リカバリー	バックアップファイルから改定世代をリカバリーします。
⑨	戻る	管理メニューに戻ります。

単価改定支援システム

■ 4. 2. 地区コード管理 ■

地区コードの管理を行います。

No	項目	説明
①	コード種類	県コード/経済調査会コード/建設物価調査会コードから登録したいコードを選択します。選択されたコード一覧は②に表示されます。
②	コード登録欄	コードを登録します。 ※同一コードは、登録できません。
③	抽出条件欄	条件を選択することで、⑤に表示する項目を抽出します。
④	クリア	③で選択した条件をクリアします。
⑤	コード割当登録欄	資料区分ごとの地区コードと、県の地区コードの割当をします。
⑥	戻る	管理メニューに戻ります。 ※変更があった場合には、保存確認のメッセージが表示されます。

単価改定支援システム

< 4. 2. 1 県コード >

- ①コード種類の「県コード」を選択することで、県の地区コードを登録することができます。
※ここでは、右枠⑤は使用しません。

地区コード管理			⑤		
① 県コード 経済調査会コード 建設物価調査会コード			資料区分	品目区分	資料地区コード 県地区コード
地区コード	地区名称	使用可否			
0		<input checked="" type="checkbox"/>			
1	千葉	<input checked="" type="checkbox"/>			
2	葛南	<input checked="" type="checkbox"/>			
3	市原	<input checked="" type="checkbox"/>			
4	東葛飾	<input checked="" type="checkbox"/>			
5	印旛	<input checked="" type="checkbox"/>			
6	成田	<input checked="" type="checkbox"/>			
7	香取	<input checked="" type="checkbox"/>			
8	銚子	<input checked="" type="checkbox"/>			
9	海浜	<input checked="" type="checkbox"/>			
10	山武	<input checked="" type="checkbox"/>			
11	長生	<input checked="" type="checkbox"/>			
12	夷隅	<input checked="" type="checkbox"/>			
13	大多喜	<input type="checkbox"/>			
14	鴨川	<input type="checkbox"/>			
15	安房	<input checked="" type="checkbox"/>			
16	君津	<input checked="" type="checkbox"/>			
* 0		<input type="checkbox"/>			

② ③ ④

⑥ 戻る

No	項目	説明
①	コード種類	登録したいコードを選択します。ここでは、県コードを選択します。 (県コード/経済調査会コード/建設物価調査会コード)
②	地区コード	「県地区コード」を登録します。 ※同一コードは、登録できません。
③	地区名称	「地区名称」を登録します。
④	使用可否	該当する地区単価の使用可否を設定します。
⑤	(未使用)	県コードの登録では使用しません。
⑥	戻る	管理メニューに戻ります。 ※変更があった場合には、保存確認のメッセージが表示されます。

※ここで設定した内容が、データ編集画面の「地区」に反映されます。

地区
千葉

単価改定支援システム

< 4. 2. 2 経済調査会コード >

刊行物（経済調査会）の地区コードを登録し、県地区コードに割り当てます。

地区コード管理

① 県コード 経済調査会コード 建設物価調査会コード

④ 資料区分 ⑤ 品目区分 ⑥ 資料地区コード ⑦ 県地区コード ⑧ クリア

資料地区コード 資料地区名称

12100 千葉
12202 銚子
12204 船橋
12205 館山
12206 木更津
12207 松戸
12210 茂原
12211 成田
12218 勝浦

品目区分 資料地区コード 県地区コード

石材 千葉 千葉
石材 船橋 葛南
石材 千葉 市原
石材 松戸 東葛飾
石材 成田 印旛
石材 成田 成田
石材 銚子 香取
石材 銚子 銚子
石材 茂原 長生
石材 勝浦 夷隅
石材 館山 安房
石材 木更津 君津
アスファルト合材 千葉 千葉
アスファルト合材 千葉 葛南
アスファルト合材 千葉 市原
アスファルト合材 千葉 東葛飾
アスファルト合材 成田 印旛
アスファルト合材 成田 成田
アスファルト合材 成田 香取
アスファルト合材 成田 銚子
アスファルト合材 成田 長生
アスファルト合材 木更津 夷隅
アスファルト合材 木更津 安房
アスファルト合材 木更津 君津
生コンクリート 千葉 千葉
生コンクリート 船橋 葛南
生コンクリート 千葉 市原
生コンクリート 松戸 東葛飾
生コンクリート 成田 印旛
生コンクリート 成田 成田
生コンクリート 成田 香取
生コンクリート 銚子 銚子
生コンクリート 茂原 長生
生コンクリート 勝浦 夷隅
生コンクリート 館山 安房
生コンクリート 木更津 君津

② ③

⑨ ⑩ ⑪ 戻る ⑫

No	項目	説明
①	コード種類	登録したいコードを選択します。 ここでは、「経済調査会コード」を選択します。
②	地区コード	「資料地区コード」を登録します。 ※同一コードは、登録できません。
③	地区名称	「資料地区名称」を登録します。
④	抽出	資料区分 右枠欄（⑩⑪⑫）に表示する刊行物の種類を選択します。
⑤		品目区分 抽出したい品目区分を選択します。 ⑨の項目により抽出されます。
⑥		資料地区コード 抽出したい資料地区コードを選択します。 ⑩の項目により抽出されます。
⑦		県地区コード 抽出したい県地区コードを選択します。 ⑪の項目により抽出されます。
⑧	クリア	⑤⑥⑦の条件をクリアします。
⑨	編集・閲覧	地区を割り当てる品目区分を割り当てます。 (設定：4. 3「品目区分管理」)
⑩		資料地区コード 経済調査会/建設物価調査会の地区コードを登録します。
⑪		県地区コード 経済調査会/建設物価調査会に割り当たる「県地区コード」を登録します。
⑫	戻る	管理メニューに戻ります。 ※変更があった場合には、保存確認のメッセージが表示されます。

単価改定支援システム

< 4. 2. 3 建設物価調査会コード >

刊行物（建設物価調査会）の地区コードを登録し、県地区コードに割り当てます。

No	項目	説明
①	コード種類	登録したいコードを選択します。 ここでは、「建設物価調査会コード」を選択します。
②	地区コード	「資料地区コード」を登録します。 ※同一コードは、登録できません。
③	地区名称	「資料地区名称」を登録します。
④	抽出	資料区分
⑤		品目区分
⑥		資料地区コード
⑦		県地区コード
⑧	クリア	⑤⑥⑦の条件をクリアします。
⑨	編集・閲覧	品目区分
⑩		資料地区コード
⑪		県地区コード
⑫	戻る	管理メニューに戻ります。 ※変更があった場合には、保存確認のメッセージが表示されます。

単価改定支援システム

■ 4. 3. 品目区分管理 ■

品目区分の管理を行います。

品目区分	品目
0	
1	鋼材
2	石材
3	コンクリート二次製品
4	アスファルト合材
5	生コンクリート
* 0	

① ②

戻る ③

No	項目	説明
①	品目区分	「品目区分」を登録します。 ※同一コードは、登録できません。
②	品目	「品目」を登録します。
③	戻る	管理メニューに戻ります。 ※変更があった場合には、保存確認のメッセージが表示されます。

※ここで設定した内容が、データ編集画面の「品目区分」に反映されます。

品目区分

▼

鋼材
石材
コンクリート二次製品
アスファルト合材
生コンクリート

単価改定支援システム

■ 4. 4. 出典区分管理 ■

出典区分の管理を行います。

出典区分	出典根拠
1	刊行物
2	特別調査（県）
3	関東整備局
4	県関係各課
5	基準書等
* 0	

① ②

戻る ③

No	項目	説明
①	出典区分	「出典区分」を登録します。 ※1 同一コードは、登録できません。 ※2 出典区分：1「刊行物」は固定です。変更できません。
②	出典根拠	「出典根拠」を登録します。
③	戻る	管理メニューに戻ります。 ※変更があった場合には、保存確認のメッセージが表示されます。

※ここで設定した内容が、データ編集画面の「出典」に反映されます。

出典

▼

刊行物
特別調査（県）
関東整備局
県関係各課
基準書等

単価改定支援システム

■ 4. 5. 非公開フラグ管理 ■

非公開フラグの管理を行います。

非公開フラグ	内容
0	公開
1	単価値のみ非公開
2	完全非公開
* 0	完全非公開

① ②

戻る ③

No	項目	説明
①	非公開フラグ	「非公開フラグ」を登録します。 ※同一コードは、登録できません。
②	内容	「内容」を登録します。
③	戻る	管理メニューに戻ります。 ※変更があった場合には、保存確認のメッセージが表示されます。

※ここで設定した内容が、データ編集画面の「非公開フラグ」に反映されます。

非公開フラグ

公開

公開
単価値のみ非公開
完全非公開

単価改定支援システム

■ 4. 6. 非公開理由管理 ■

非公開理由の管理を行います。

非公開理由	理由
0	
1	国の定めた単価
2	刊行物に関する単価
3	県内部に関する単価
* 0	

① ②

戻る ③

No	項目	説明
①	非公開理由	「非公開理由」を登録します。 ※同一コードは、登録できません。
②	理由	「理由」を登録します。
③	戻る	管理メニューに戻ります。 ※変更があった場合には、保存確認のメッセージが表示されます。

※ここで設定した内容が、データ編集画面の「非公開理由」に反映されます。

非公開理由

▼

国の定めた単価
刊行物に関する単価
県内部に関する単価

単価改定支援システム

■ 4. 7. 変更理由管理 ■

変更理由の管理を行います。

変更理由	理由
0	
1	JACIC廃止
2	県独自単価
* 0	

① ②

戻る ③

No	項目	説明
①	変更理由	「変更理由」番号を登録します。 ※同一コードは、登録できません。
②	理由	「理由」を登録します。
③	戻る	管理メニューに戻ります。 ※変更があった場合には、保存確認のメッセージが表示されます。

※ここで設定した内容が、データ編集画面の「変更理由」に反映されます。

変更理由

▼

JACIC廃止
県独自単価

単価改定支援システム

■ 4. 8. 出力パターン管理 ■

CSV 出力するデータのパターンを登録します。

出力パターン管理

① パターン一覧

テスト1	見出し有り
テスト2	見出し無し

表示 ②

新規 ③

削除 ④

⑤ 出力パターン名 テスト1 見出し有り

⑥ 見出し出力 ⑦ 目次出力 ⑧ 地区の出力方向

⑨ 1 ページ行数

⑩ 単価 30 地区単価 22

⑪ 出力項目 抽出条件 並び順

順番	項目名	出力時タイトル
1	分類コード	分類
2	順番	順番
3	単価コード	コード
4	単価名称	名称
5	規格	規格
6	単位	単位
* 0		

データ確認 ⑫ 登録 ⑬ 戻る ⑭

No	項目	説明
①	パターン一覧	登録済の出力パターンの一覧を表示します。
②	表示	①で選択した出力パターンを表示します。
③	新規	出力パターンを新規作成します。
④	削除	①で選択した出力パターンを削除します。
⑤	出力パターン名	出力パターン名を登録します。 登録された名前は、①の一覧に表示されるようになります。
⑥	見出し出力	見出し（分類名称）を出力するかどうかを設定します。
⑦	目次出力	目次を出力するかどうかを設定します。
⑧	地区の出力方向	地区単価の出力様式（縦書式・横書式）を選択します。
⑨	1 ページ	1 ページ当りの行数を登録します。単価・地区単価（縦書式）
⑩	行数	
⑪	出力設定領域	（次ページに記述します）
⑫	データ確認	データ確認画面を表示します。
⑬	登録	設定した出力パターンを次回以後も使えるように登録します。
⑭	戻る	管理メニューに戻ります。

単価改定支援システム

【出力設定領域】

<出力項目>

出力項目		
抽出条件		
並び順		
順番	項目名	出力時タイトル
1	分類コード	分類
2	順番	順番
3	単価コード	コード
4	単価名称	名称
5	規格	規格
6	単位	単位
7	地区コード	
*	①	②

No	項目	内容
①	順番	出力する項目の並び順（左から何番目か）を指定します。 ※同一番号は、登録できません。
②	項目名	出力する項目を設定します。
③	出力時タイトル	出力時のタイトルを変更したい場合（任意）に設定します。

<抽出条件>

出力項目			
抽出条件			
並び順			
優先順位	項目名	比較演算子	値
1	分類コード	等しい	1010201
0			
*	①	②	③

No	項目	内容
①	優先順位	抽出条件の優先順位を指定します。 ※同一番号は、登録できません。
②	項目名	出力する項目を設定します。
③	比較演算子	比較内容を登録します。 （等しい、等しくない、より少ない、以下、以上、より大きい）
④	値	比較対象となる値を設定します。

<並び順>

出力項目		
抽出条件		
並び順		
優先順位	項目名	並び順
1	分類コード	昇順
2	順番	昇順
3	単価コード	昇順
0		
*	①	②

No	項目	内容
①	優先順位	並び順の優先順位を指定します。 ※同一番号は、登録できません。
②	項目名	出力する項目を設定します。
③	並び順	②で選択した項目の並び方を昇順か降順かで選択します。

単価改定支援システム

■ 4. 9. 履歴 ■

単価データに、新規追加・削除した履歴を表示します。

追加・削除履歴

①

②

③

⑤

⑥

区分 *全て*

単価コード

適用日

クリア

名称・規格

発生日

絞込

検索

⑦	⑧	⑨	⑩	版	⑪	⑫
単価コード	単価名称	規格	適用日	版	区分	発生日
a			2008/05/01	1	追加	2008/06/11
a			2008/05/01	1	削除	2008/06/11
A----			2008/05/01	1	削除	2008/06/11
A----			2008/05/01	1	追加	2008/06/09
AAB			2008/05/01	1	追加	2008/06/09
AAB			2008/05/01	1	削除	2008/06/09
AAC			2008/05/01	1	追加	2008/06/09
AAC			2008/05/01	1	削除	2008/06/09
AAD			2008/05/01	1	削除	2008/06/09
AAD			2008/05/01	1	追加	2008/06/09
AAE			2008/05/01	1	追加	2008/06/09
AAE			2008/05/01	1	削除	2008/06/09
AMC62010001	鋼矢板（本矢板） 2型（48kg/m）	基礎価格	2008/05/01	1	削除	2008/06/06
AMC62010002	鋼矢板（本矢板） 2型（48kg/m）	90日以内	2008/06/01	1	削除	2008/06/06
AMC62010003	鋼矢板（本矢板） 2型（48kg/m）	180日以内	2008/05/01	1	削除	2008/06/06
AMC62010004	鋼矢板（本矢板） 2型（48kg/m）	360日以内	2008/05/01	1	削除	2008/06/06
AMC62010005	鋼矢板（本矢板） 2型（48kg/m）	720日以内	2008/05/01	1	削除	2008/06/06
AMC62010006	鋼矢板（本矢板） 2型（48kg/m）	1080日以内	2008/05/01	1	削除	2008/06/06
AMC62010006	鋼矢板（本矢板） 2型（48kg/m）	1080日以内	2008/06/01	1	削除	2008/06/06

レコード: 1 / 26675

戻る

⑬

No	項目	説明
①	区分	「全て」「追加のみ」「削除」で抽出することができます。
②	単価コード/名称・規格	入力した単価コード、又は名称・規格に含まれる文字の一部で抽出します。
③	適用日/発生日	年月日により抽出します。
④	絞込	①～③の条件に合う履歴に絞込みます。
⑤	クリア	①～③をクリアします。
⑥	検索	②又は③の条件に合う履歴を検索します。
⑦	単価コード	単価コードを表示します。
⑧	単価名称	単価名称を表示します。
⑨	規格	規格を表示します。
⑩	適用日/版	発生した改定世代の適用日/版を表示します。
⑪	区分	処理区分の状態を表示します。
⑫	発生日	「追加」又は「削除」処理が発生した年月日を表示します。
⑬	戻る	管理メニューに戻ります。

単価改定支援システム

<メモ>

単価改定システム

■ 5. 1. 刊行物データレイアウト ■ (2008 年 10 月時点)

1) ファイル

ファイル名称	Xtanka_yyyyymm	ファイル名称の頭1文字で種類を判別 (K=経済調査会、B=建設物価調査会、T=特別調査)
ファイル形式	CSV	下表データレイアウトによる

2) データレイアウト

項番	項 目		タイプ	取込	備考
1	材料コード		英数字	○	県の指定する単価(別紙)
2	地区コード		数字	○	後述3) 参照
3	単 価		数字	○	
4	単 位		日本語		県の指定する単位(別紙)
5	資料区分		数字		システム上の資料区分管理を参照
6	DB情報 (調査会)	号 数	数字	○	yyyymm
7		掲載頁	数字	○	WEB 建設物価の場合「999」
8		掲載都市コード	英数字	○	
9		資材コード	英数字	○	
10		品目名	日本語		
11		規 格	日本語		
12		単 位	日本語		
13		単 価	数字		
14		掲載都市	日本語		
15		流通区分	日本語		
16		取引区分	日本語		
17		荷渡区分	日本語		
18		備考(注記)	日本語		
19	計算式等		日本語	○	掲載単価に計算を加えた場合等
20	備考		日本語	○	必要に応じ記載

※掲載頁が WEB 建設物価「999」の場合、システムへの取込み時に「W」に変換する。

単価改定システム

3) 地区コード表

コード	名称	備考
99	刊行物掲載都市による	資料区分=1～6 の場合
0	地区無し(全県統一単価)	資料区分=7～9 の場合
1	千葉	
2	葛南	
3	市原	
4	東葛飾	
5	印旛	
6	成田	
7	香取	
8	銚子	
9	海匝	
10	山武	
11	長生	
12	夷隅	
13	-	
14	-	
15	安房	
16	君津	

単価改定システム

5) 刊行物 地区割り振りの考え方

石材

クラッシャーラン
再生クラッシャーラン
粒度調整碎石
単粒度碎石
単粒度碎石
単粒度碎石
スクリーニングス
コンクリート用骨材

積算資料	建設物価 WEB 建設物価	千葉県
千葉	千葉	千葉 市原
	船橋	葛南
柏	松戸	東葛飾
成田	成田	印旛 成田
銚子	銚子	香取 銚子
	東金	海匝 山武
	茂原	長生
	勝浦	夷隅
	館山	安房
木更津	木更津	君津

生コン

積算資料	建設物価 WEB 建設物価	千葉県
千葉	千葉	千葉 市原
市川・船橋	船橋・市川	葛南
松戸・柏	松戸・柏	東葛飾
成田・佐倉	成田	印旛 成田
銚子	銚子	香取 銚子
	東金	海匝 山武
茂原	茂原	長生
勝浦	勝浦	夷隅
館山	館山	安房
木更津	木更津	君津

AS合材

積算資料	建設物価 WEB 建設物価	千葉県
千葉	千葉	千葉 市原
	船橋・市川	葛南
	松戸	東葛飾
成田	成田	印旛 成田
	銚子	香取 銚子
	東金	海匝 山武
	茂原	長生
	勝浦	夷隅
	館山	安房
木更津	木更津	君津

単価改定システム

6) 地区コード割り振り表 (経済調査会DB地区コード)

経済調査会DB地区コード				県設定地区コード	
コード	名称	カナ名称	備考	コード	名称
00001	全国	ゼンコク		0	地区無し (全県統一単価)
00007	50Hz地区	50Hz チク			
00050	全国2(除北海道沖縄)	ゼンコク 2			
00055	全国3(除沖縄)	ゼンコク 3			
00056	全国4(除北海道)	ゼンコク 4			
00060	本州	ホンシュウ			
00230	関東	カントウ			
00231	関東2(除東京)	カントウ 2			
12000	千葉県	チバケン			
12100	千葉	チバ		1	千葉
				3	市原
				7	香取
12202	銚子	チョウシ		8	銚子
				2	葛南
12203	市川	イチカワ		2	葛南
12204	船橋	フナバシ		15	安房
12205	館山	タテヤマ		16	君津
12206	木更津	キサラヅ		4	東葛飾
12207	松戸	マツト		11	長生
12210	茂原	モハラ		5	印旛
12211	成田	ナリタ		6	成田
				6	成田
12212	佐倉	サクラ		4	東葛飾
12217	柏	カシワ		12	夷隅
12218	勝浦	カツウラ		0	地区無し (全県統一単価)
13100	東京	トウキョウ			

単価改定システム

7) 地区コード割り振り表 (建設物価調査会DB地区コード)

建設物価調査会DB地区コード				県設定地区コード	
コード	都市名	都市名・略称	備考	コード	名称
0000000	全国(57都市)	全国(57)		0	地区無し (全県統一単価)
0000001	全国(北海道・沖縄除く)	全国(50)			
0000002	全国(北海道・九州・沖縄除く)	全国(42)			
0000003	全国(沖縄除く)	全国(沖縄除)			
0000004	全国(北海道除く)	全国(北海道除)			
0000005	全国 (北海道・沖縄・九州・四国除く)	全国(38)		0	地区無し (全県統一単価)
0000008	全国(北海道・東北除く)	全国(45都市)			
0000009	全国 (北海道・東北・北陸・沖縄除く)	全国(41都市)		0	地区無し (全県統一単価)
12	千葉県	千葉県	市場単価		
0000013	全国(北海道・四国・沖縄除く)	全国(46都市)			
13	東京都	東京都	市場単価		
0000014	全国(北海道・四国除く)	全国(45都市)			
0000015	全国10都市(那覇除く)	全国(10除那覇)			
0000016	全国10都市(金沢除く)	全国(10除金沢)			
0000017	全国9都市(金沢・那覇除く)	全国9除金沢那覇			
0000018	全国 (北海道近畿四国九州沖縄除く)	全国(29)		0	地区無し (全県統一単価)
0000019	全国(近畿除く)	全国(48)			
0000300	関東地区	関東		0	地区無し (全県統一単価)
0000310	関東地区(長野除く)	関東(8)			
0023000	関東・近畿・中部地区	関東・近畿・中部		0	地区無し (全県統一単価)
0026000	関東・近畿・中部・北陸地区	関東近畿中部北陸		0	地区無し (全県統一単価)
0031500	関東・中部地区 (東京・横浜・千葉・静岡)	関東・中部(4)		0	地区無し (全県統一単価)
1210000	千葉市	千葉		1	千葉
				3	市原
1220200	銚子市	銚子		7	香取
				8	銚子
1220300	市川市	市川		2	葛南
1220380	船橋市・市川市	船橋・市川			
1220400	船橋市	船橋			
1220500	館山市	館山		15	安房
1220600	木更津市	木更津		16	君津
1220700	松戸市	松戸		4	東葛飾
1220780	松戸市・柏市	松戸・柏			
1221000	茂原市	茂原		11	長生
1221100	成田市	成田		5	印旛
				6	成田
1221300	東金市	東金		9	海匝
				10	山武
1221700	柏市	柏		4	東葛飾
1221800	勝浦市	勝浦		12	夷隅

単価改定システム

■ 5. 2. XML出力データレイアウト ■

1) 労務属性データレイアウト

バイト位置	項目名	データタグ名	属性	文字数	備考
1	労務属性データ	<労務属性データ>			労務属性データ(群)の開始タグ。
2	労務属性	<労務属性>			1件の労務属性データである。
2(1)			労務コード	半角 5	労務のコード("Rxxxx" xxxx は英数字4桁)
2(2)			運用開始年月	半角 6	西暦の年月(yyyymm)である。当該データが何時から有効かを表す。 特殊な年月として月が"22"又は"33"のものがある。これは、当該年の3月の後で4月の前であることを示す。債務負担工事のための特殊な月表現である。 ※データの履歴管理のための情報である。
2(3)			有効終了年月	半角 6	当該データが何時まで有効かを表す。"999999"は有効期限がないことを表す。西暦の年月(yyyymm)で指定する。 特殊な年月として月が"22"又は"33"のものがある。これは、当該年の3月の後で4月の前であることを示す。債務負担工事のための特殊な月表現である。 ※データの履歴管理のための情報である。
2(4)			費用区分	半角 1	費用区分である。費用区分を省略した場合は、「賃金」を示す。 1 : 直接人件費 2 : 賃金 3 : 滞在費、日当、宿泊費 ※JACIC『XML形式基準データ仕様書(業務委託編)』より追加。
2(5)			労務名称	不定	労務の名称である(CSV形式では全角換算16文字以内、XML形式ではそれ以上の文字数になる可能性あり)。 ※提供時 EUC-JP で 64 バイト以内
2(6)			単位	不定	労務属性データの単位である(CSV形式では全角換算4文字以内、XML形式ではそれ以上の文字数になる可能性あり)。 ※提供時 EUC-JP で 16 バイト以内
2(7)			構成比	半角 5	労務費構成費である(実数値)。 整数部 5 桁以内小数部 4 桁以内、併せて 5 桁以内
2(8)			<i>F 機労材集計区分</i>	<i>半角 3</i>	ESTIMA 同様に労務単価データ個々に機労材集計区分(001~960、996~999、A00~A99、…、Z00~Z99)を指定する。 ※全ての労務単価データに同じ機労材集計区分を付与するときは、環境定義のみで可能である。

※網掛け・斜体部分のタグ名、属性名は富士通独自追加仕様である。

単価改定システム

2) 材料属性データレイアウト

バイト位置	項目名	データタグ名	属性	文字数	備考
1	材料属性データ	<材料属性データ>			材料属性データ(群)の開始タグ。
2	材料属性	<材料属性>			1件の材料分類データである。
2(1)			材料コード	半角 10	<p>材料のコード。以下の種類がある。xxxxxxxx は空白を含む半角文字(英数字・特殊文字)である。</p> <p>◆材料 Zxxxxxxxx: 一般材料 Yxxxxxxxx: 単価不定材料 Vxxxxxxxx: 電気材料</p> <p>◆市場単価 Qxxxxxxxx</p> <p>◆機械賃料・賃料 Lxxxxxxxx</p> <p>◆諸雑費 ZSxxxxxxxx ・ZSxxxxxxxx: まるめ ・ZS7xxxxxxxx: 率計上 ・ZS8xxxxxxxx: 率計上 + まるめ</p> <p>Xxxxxxxxx : (H19 データでは未使用) ZHxxxxxxxx: (H19 データでは未使用)</p> <p>◆集計項目 IHxxxxxxxx : 集計項目コード(直前までのすべての構成項目に代わる構成項目。直前までの構成項目の金額合計に変動率を加味(乗算)し算出した金額を、直前までの構成項目に代わる)</p>
2(2)			運用開始年月	半角 6	<p>西暦の年月 (yyyymm) である。当該データが何時から有効かを表す。特殊な年月として月が"22"又は"33"のものがある。これは、当該年の3月の後で4月の前であることを示す。債務負担工事のための特殊な月表現である。 ※データの履歴管理のための情報である。</p>
2(3)			有効終了年月	半角 6	<p>当該データが何時まで有効かを表す。"999999"は有効期限がないことを表す。西暦の年月 (yyyymm) で指定する。特殊な年月として月が"22"又は"33"のものがある。これは、当該年の3月の後で4月の前であることを示す。債務負担工事のための特殊な月表現である。 ※データの履歴管理のための情報である。</p>

(次頁へ続く)

単価改定システム

バイト位置	項目名	データタグ名	属性	文字数	備考
2(4)			地区区分	半角 1	地区区分である。 1 : 地方整備局統一単価 2 : 仮想県(地区)別単価 3 : 地区別単価 ※A～Z(英字1文字)を、仮想県(地区)別単価にする (★富士通独自追加仕様)。
2(5)			製品区分	半角 2	製品区分である。省略可能である。 ※上水道で使用する材料にのみ有効な項目である。 省略: 指定なし(一般製品) 1 : 特殊製品費 2 : 2次製品費 3 : 特殊製品費+2次製品費 ※「特殊製品費」のみ使用。上水道積算時に、特殊製品費の集計を行い、 現場管理費の特殊製品費補正に使用している。
2(6)			材料名称	任意	材料の名称である(CSV 形式では全角換算16文字以内であり、XML 形式ではそれ以上の文字数になる可能性あり)。 ※提供時 EUC-JP で 64 バイト以内
2(7)			規格	任意	材料の規格である(CSV 形式では全角換算15文字以内であり、XML 形式ではそれ以上の文字数になる可能性あり)。 ※提供時 EUC-JP で 60 バイト以内
2(8)			単位	任意	材料属性データの単位である(CSV 形式では全角換算4文字以内であり、XML 形式ではそれ以上の文字数になる可能性あり)。 ※提供時 EUC-JP で 16 バイト以内
2(9)			<i>F 機労材集計区分</i>	半角 3	ESTIMA 同様に労務単価データ個々に機労材集計区分 (001～960、996～999、A00～A99、…、Z00～Z99) を指定する。 ※全ての労務単価データに同じ機労材集計区分を付与するときは、環境定義のみで可能である。

※網掛け・斜体部分のタグ名、属性名は富士通独自追加仕様である。

単価改定システム

①諸雑費と集計項目の例

コード	処理	計算方法
ZS7xxxxxx	率計上	以前の構成項目の「諸雑費定義 1, 2, 3」に当該構成項目の「諸雑費参照」と同じ値を持つ構成項目の金額合計に、当該構成項目に率（「数量」に指定した単位%の値）を乗じて算出した額を率計上とする。
ZS3xxxxxx	まるめ	以前の構成項目の「諸雑費定義 1, 2, 3」に当該構成項目の「諸雑費参照」と同じ値を持つ構成項目の合計金額を切上げによる有効桁数 4 桁丸めを行い、「丸め後の全体金額－丸め前の全体金額」を諸雑費として計上する。 なお、諸雑費コードが「ZS3000004」のときは「諸雑費定義 1, 2, 3」と「諸雑費参照」の指定は無視して、無条件に全ての構成項目を対象にする。
ZS8xxxxxx	率計上＋まるめ	当該構成項目の金額は、ZS7xxxxxx と同様に算出する。その結果算出した構成項目の全体金額を切捨てによる有効桁数 4 桁丸めを行い、「丸め前の全体金額－丸め後の全体金額」を当該諸雑費の計上金額から減額する。（「諸雑費定義 1, 2, 3」と「諸雑費参照」の指定は有効であり、これにより対象となる構成項目が決まる）
IHxxxxxxx	変化率の加味	当該構成項目より上の構成項目の金額合計に対し、当該構成項目の数量（変化率）を乗じて変動後の金額を算出して当該構成項目（集計項目の構成行）の金額にする。そして、その金額は、当該構成項目より上の全ての構成項目の金額合計に置き換わるものとして採用する。 ESTIMA の全体割増データに似た機能である。また、対象とする構成項目は「諸雑費定義 1, 2, 3」と「諸雑費参照」で指示しても無効であり、無条件に集計項目の構成項目から上の全ての構成項目を対象にする。

②材料コードごとの定義状況

◆一般材料（Zxxxxxxxx）、電気材料（Vxxxxxxxx）、不明（Sxxxxxxxx）、不明（Gxxxxxxxx）……使用可能なものは材料属性データとして存在し、必要な項目も存在する。また、単価値データも存在する。

★Sxxxxxxxx や Gxxxxxxxx のコードは、材料コードとして予約されているが、2007 年時点では存在しない（未使用）★

◆単価不定材料（Yxxxxxxxx）……材料属性データとして存在する場合は、「名称」や「単位」のみを採用する。単価値データは存在しない。材料属性データとして未定義でもよく、その場合は名称や単位の入力が必要である（未入力なら空白）。また、単価は直接入力する。

◆市場単価（Qxxxxxxxx）……使用可能なものは材料属性データとして存在し、必要な項目も存在する。また、単価値データも存在する。

◆機械賃料（Lxxxxxxxx、MCxxxxxxxx）……機械損料データと同じコードであるが、機械賃料として材料属性データとして存在する。そのため、単価値データも存在する。

★MCxxxxxxxx は業務委託用のコードとして予約されているが、2007 年時点では存在しない（未使用）★

◆諸雑費（ZSxxxxxxxx、Xxxxxxxxx、ZHxxxxxxxx）、集計項目（IHxxxxxxxx）……材料属性データとして存在する場合は、「名称」や「単位」のみを採用する。単価値データは存在しない。材料属性データとして未定義でもよく、その場合は名称や単位の入力が必要である（未入力なら空白）。

単価改定システム

3) 単価値データレイアウト ※CDC独自仕様

バイト位置	項目名	データタグ名	属性	文字数	備考
1	単価値データ	<単価値データ>			単価値データ(群)の開始タグ。
1(1)			開始年月	半角 6	単価値の適用年月(西暦 yyyyymm)
1(2)			作成日	半角 8	ファイルの作成日(西暦 yyyyymmdd)
2	単価値	<単価値>			労務属性および材料属性いずれかの1件分のデータである。
2(1)			単価コード	任意	単価のコード。 労務単価の場合は文字数5、材料属性の場合は文字数10。
2(2)			地区コード	任意	地区単価の地区コード。 地区単価でない場合は「0」。
2(3)			地区名	任意	地区単価の名称。 地区単価でない場合は「共通」。
2(4)			実査区分	半角 1	保持している単価を表す区分。 1 : 実施単価のみ 2 : 実施・査定単価 3 : 査定単価のみ
2(5)			実施単価	任意	実施単価値
2(6)			査定単価	任意	査定単価値

単価改定システム

■ 5. 3. ESTIMA (新)出力データレイアウト ■

< 5. 3. 1 単価値データ (登録データ)

1) ファイル

編成	テキスト(固定長)
レコード長	40～80 バイト
説明	<p>単価値データ(登録データ)は、1データで何時(〇〇〇〇年□□月)のどの地区(統一単価・仮想地区・地区)の単価値であるかを表す。 これを入力として、単価値レコードを作成する。</p> <p>単価値データ(登録データ)は、固定長の単価値データであり、その長さは40～80バイトの範囲で任意である。1件の単価値データ(登録データ)の区切りが復帰改行する。 復帰改行を1件のデータの終わりとしてデータを取り出し、そのデータの長さが40バイト以上80バイト以下であればOKとし、先頭30バイトに上記書式の項目設定が在ると見なして処理する。</p>

2) データレイアウト

バイト位置	項目名	型	バイト数	備考
	単価値レコード			労務属性、材料属性(含む賃料)データの単価値のみに関するデータ(登録データ)である。
1	開始年月	CHAR	6	西暦の年月(yyyymm)である。当該データが何時から有効かを表す。 特殊な年月として月が"22"又は"33"のものがある。 これは、当該年の3月の後で4月の前であることを示す。債務負担工事のための特殊な月表現である。 ※データの履歴管理のための情報である。
7	(未使用)	CHAR	1	未使用(任意)(2008.01.31)
8	材料コード	CHAR	10	<p>労務のコード("Rxxxx" xxxx は英数字4桁)、材料のコード。以下の種類がある。xxxxxxxx は空白を含む半角文字(英数字・特殊文字)である。</p> <p>◆材料 Zxxxxxxxx: 一般材料 Yxxxxxxxx: 単価不定材料 ※単価値レコードなし Sxxxxxxxx: (H19 データでは未使用) Vxxxxxxxx: 電気材料 Gxxxxxxxx: (H19 データでは未使用)</p> <p>◆市場単価 Qxxxxxxxx</p> <p>◆機械賃料・賃料 Lxxxxxxxx MCxxxxxxxx: 業務委託用 (H19 データでは未使用)</p>
18	(未使用)	CHAR	1	未使用(任意)(2008.01.31)

(次頁へつづく)

単価改定システム

バイト位置	項目名	型	バイト数	備考
19	地区番号	CHAR	3	どの地区の単価値かを表すブロック地区番号又は特定の地区番号である。半角空白3桁なら全地区共通な統一単価値であることを表す。その他は、ブロック地区番号又は特定の地区番号(1～999で右詰め)である。 ※番号がブロック地区番号か特定の地区番号かは、材料属性データの「地区区分」が“2”のときは、「地区区分+地区番号」(4桁)に関するブロック地区番号を環境定義体から求め、そのブロック地区番号を「地区番号」に持つ単価値レコードを捜す。「地区区分」が“3”のときは地区番号そのものを「地区番号」に持つ単価値レコードを捜す。
22	(未使用)	CHAR	1	未使用(任意)(2008.01.31)
23	単価	CHAR	10	単価値(単位円)である。 固定的に整数8桁小数2桁、併せて10桁である。 小数点は存在せず、仮想小数点が存在するとみなすが、整数部の先行するゼロや小数部の末尾のゼロは存在していても存在しなくてもよい。
33	(未使用)	CHAR	1	未使用(任意)(2008.01.31)
34	単価符号	CHAR	1	単価の正負を表す。 “-” : 負である 他 : 正である
35	リザーブ(任意)	CHAR	4	任意(未使用)(2008.01.31) ※固定で半角4文字分予約(空白)
39	[リザーブ(任意)]	CHAR	0～40	未使用(任意)(2008.01.31)
39 or 79	復帰改行	CHAR	2	復帰改行である。

< 5. 3. 2 単価値レコード

1) ファイル

編成	固定長形式 ISAM
レコード長	185 バイト
説明	<p>単価値データ(登録データ)は、1データで何時(〇〇〇〇年□□月)のどの地区(統一単価・仮想地区・地区)の単価値であるかを表す。これを入力として、以下に示す単価値レコードを作成する。</p> <p>単価値レコードは、特定の単価コードの地区区分ごとの単価値を年度単位で管理したものである。例えば、材料単価 Z123456789 の統一単価については、一つにレコード(例えば、2007 年度レコード)に 4 月～翌年 3 月及び 22 月、33 月に単価値が管理できる。</p> <p>単価値を取得する場合は、「年度」「材料コード」「地区番号」と設計書の総括情報で指定した「単価区分」(1:実施単価/2:査定単価)を指定する。最初は指定した「年度」「材料コード」「地区番号」「単価区分」をキーとして単価値レコードを捜し、発見できないときは「単価区分」を空白にして単価値レコードを捜す。それでも発見できないときは、単価値未登録である。</p> <p>単価区分には、実施専用、査定専用、共通の3区分があり、実施単価は実施専用と共通から捜し、査定単価は査定専用と共通から捜す。</p> <p>単価値として実施単価と査定単価の識別は、JACIC 単価値ファイルを分離することで対応する。即ち、実施単価と共通単価(実施及び査定どちらでも使用可能)の入った JACIC 単価値ファイルと、査定単価と共通単価(実施及び査定どちらでも使用可能)の入った JACIC 単価値ファイルを用意し、環境定義に JACIC 単価値ファイルとして実施用と査定用(共に共通を含む)を定義する。設計書作成処理は、JACIC XML 形式の基準データを扱うときは、単価区分により実施用の JACIC 単価値ファイルを使用するか査定用の JACIC 単価値ファイルを使用するかを自動的に判断する。</p>

単価改定システム

2) データレイアウト

バイト位置	項目名	型	バイト数	備考
	単価値レコード			労務属性、材料属性(含む賃料)データの単価値のみに関するデータである。レコードは、キーに記述している並びである。
1	キー部			単価値レコードを識別管理するキーである。
(1)	年度	CHAR	4	何年度の単価値データかを示す西暦の年度である。
(5)	材料コード	CHAR	10	労務のコード("Rxxxx" xxxx は英数字4桁)、 材料のコード。以下の種類がある。xxxxxxxx は空白を含む半角文字(英数字・特殊文字)である。 ◆材料 Zxxxxxxxx: 一般材料 Yxxxxxxxx: 単価不定材料 ※単価値レコードなし Sxxxxxxxx: (H19 データでは未使用) Vxxxxxxxx: 電気材料 Gxxxxxxxx: (H19 データでは未使用) ◆市場単価 Qxxxxxxxx ◆機械賃料・賃料 Lxxxxxxxx MCxxxxxxxx: 業務委託用 (H19 データでは未使用)
(15)	地区番号	CHAR	3	統一単価は、空白である。 地区別単価の場合は、ブロック地区番号又は地区番号(3桁の数値で、先行するゼロを付与)である。
18	単価有効情報			当該年度の月別の単価値が有効か無効かを表す情報である。 単価参照時に、当該月に単価値が有効でないときは、前に月に順次遡り最初に発見した有効な月の単価値を採用する。 ※単価登録時は、登録する月より後の単価値は無効にし、登録する月以前の単価値は有効にする。
(18)	単価有効サイン(4月)	CHAR	1	当該月の単価値が有効か無効かを表す。 1: 有効 他: 無効
(19)	単価有効サイン(5月)	CHAR	1	
(20)	単価有効サイン(6月)	CHAR	1	
(21)	単価有効サイン(7月)	CHAR	1	
(22)	単価有効サイン(8月)	CHAR	1	
(23)	単価有効サイン(9月)	CHAR	1	
(24)	単価有効サイン(10月)	CHAR	1	
(25)	単価有効サイン(11月)	CHAR	1	
(26)	単価有効サイン(12月)	CHAR	1	
(27)	単価有効サイン(1月)	CHAR	1	
(28)	単価有効サイン(2月)	CHAR	1	
(29)	単価有効サイン(3月)	CHAR	1	
(30)	単価有効サイン(22月)	CHAR	1	
(31)	単価有効サイン(33月)	CHAR	1	当該年度の月別の単価値情報である。 ※単価有効情報の月と対応している。 ※単価登録時は、登録する月以降～33月までに同じ単価値を設定する。

(次頁へ続く)

単価改定システム

バイト 位置	項目名	型	バイト 数	備考
32	単価値情報			
(32)	4月情報			当該月に単価値情報である。
(32)	単価値	CHAR	10	単価値(単位円)である。 固定的に整数8桁小数2桁、併せて10桁である。 小数点は存在せず、仮想小数点が存在するとみなすが、整数部の先行するゼロや小数部の末尾のゼロは存在していても存在しなくてもよい。
(42)	単価符号	CHAR	1	単価の正負を表す。 “-” : 負である 他 : 正である
(43)	5月情報	CHAR	11	当該月に単価値情報である(同上)。
(54)	6月情報	CHAR	11	
(65)	7月情報	CHAR	11	
(76)	8月情報	CHAR	11	
(87)	9月情報	CHAR	11	
(98)	10月情報	CHAR	11	
(109)	11月情報	CHAR	11	
(120)	12月情報	CHAR	11	
(131)	1月情報	CHAR	11	
(142)	2月情報	CHAR	11	
(153)	3月情報	CHAR	11	
(164)	22月情報	CHAR	11	
(175)	33月情報	CHAR	11	

単価改定システム

■ 5. 4. ESTIMA (旧)出力データレイアウト ■

1) ファイル

ファイル拡張子	テキスト
ファイル拡張子	pki
レコード長	固定長(300 バイト)
説明	一般単価は①名称レコードのみで、地区単価の場合は②単価値レコードが続く。

2) データレイアウト

①名称レコード

項目名	型	バイト数	備考
処理区分	テキスト	1	
単価コード	テキスト	11	
データ番号	テキスト	2	「01」固定
Dummy1	テキスト	4	空白
地区割タイプ	テキスト	2	一般単価「01」、地区単価「02」
単価区分	テキスト	1	空白
運搬換算重量1	テキスト	8	
運搬換算重量2	テキスト	8	空白
製品区分	テキスト	1	空白
機労材集計区分	テキスト	3	
Dummy2	テキスト	6	空白
単価数	テキスト	2	単価コードに対する単価値の数
単価値	テキスト	11	地区コード「00」又は「01」の単価値
計算用演算子	テキスト	1	空白
計算演算テーブル	テキスト	5	空白
入力条件数	テキスト	2	空白
逐次計算警告	テキスト	1	空白
Dummy3	テキスト	1	空白
単価名称	テキスト	40	
かな名称	テキスト	40	
単位	テキスト	10	
規格1	テキスト	40	
規格2	テキスト	40	空白
摘要	テキスト	40	
Dummy4	テキスト	20	空白

単価改定システム

②単価値レコード（①の単価数-1 だけ単価値を出力する。出力しない単価値は空白）

項目名	型	バイト数	備考
Dummy1	テキスト	1	空白
単価コード	テキスト	11	①の単価コードと同一
データ番号	テキスト	2	「02」固定
Dummy2	テキスト	4	空白
単価値(1)	テキスト	11	地区コード「02」の単価値又は「*」
単価値(2)	テキスト	11	地区コード「03」の単価値又は「*」
単価値(3)	テキスト	11	地区コード「04」の単価値又は「*」
単価値(4)	テキスト	11	地区コード「05」の単価値又は「*」
単価値(5)	テキスト	11	地区コード「06」の単価値又は「*」
単価値(6)	テキスト	11	地区コード「07」の単価値又は「*」
単価値(7)	テキスト	11	地区コード「08」の単価値又は「*」
単価値(8)	テキスト	11	地区コード「09」の単価値又は「*」
単価値(9)	テキスト	11	地区コード「10」の単価値又は「*」
単価値(10)	テキスト	11	地区コード「11」の単価値又は「*」
単価値(11)	テキスト	11	地区コード「12」の単価値又は「*」
単価値(12)	テキスト	11	地区コード「13」の単価値又は「*」
単価値(13)	テキスト	11	地区コード「14」の単価値又は「*」
単価値(14)	テキスト	11	地区コード「15」の単価値又は「*」
単価値(15)	テキスト	11	地区コード「16」の単価値又は「*」
単価値(16)	テキスト	11	地区コード「17」の単価値又は「*」
単価値(17)	テキスト	11	地区コード「18」の単価値又は「*」
単価値(18)	テキスト	11	地区コード「19」の単価値又は「*」
単価値(19)	テキスト	11	地区コード「20」の単価値又は「*」
単価値(20)	テキスト	11	地区コード「21」の単価値又は「*」
単価値(21)	テキスト	11	地区コード「22」の単価値又は「*」
単価値(22)	テキスト	11	地区コード「23」の単価値又は「*」
単価値(23)	テキスト	11	地区コード「24」の単価値又は「*」
単価値(24)	テキスト	11	地区コード「25」の単価値又は「*」
単価値(25)	テキスト	11	地区コード「26」の単価値又は「*」
Dummy3	テキスト	7	空白

単価改定システム

3) データ出力時の単価コード変換表

①材料

分類		JACIC	ESTIMA	コード変換内容
土木	資材	Z00XXXXXXXX	TZ00XXXXXXXX	頭に「T」を付加
	電気	V00XXXXXXXX	TV00XXXXXXXX	
	土木単価不定材料	Y00XXXXXXXX	TY00XXXXXXXX	
	市場単価	Q00XXXXXXXX	TQ00XXXXXXXX	
港湾	設定単価	ZD11XXXXXX	TDZ11XXXXXX	「ZD11」を「TDZ11」に変更
	登録単価	ZD11*XX*XX	TDF110XX0XX	
	市場単価	QDXXXXXXXX	TDQXXXXXXXX	「QD」を「TDQ」に変更
下水	下水	ZG11XXXXXX	TGZ11XXXXXX	「ZG11」を「TGZ11」に変更
	登録単価	ZG11*XX*XX	TGF110XX0XX	

②機械損料

分類		JACIC	ESTIMA	コード変換内容
土木	機械損料	MXXXXXXXX	MMXXXXXXXX	頭に「M」を付加
	機械賃料(リース料)	L00XXXXXXXX	TL00XXXXXXXX	頭に「T」を付加
ユーザ	機械損料	M100000000~M999999999	MM100000000~MM999999999	頭に「M」を付加
港湾	換算損料	M 39XXXXXX	MMJ39XXXXXX	「M 39」を「MMJ39」に変更
	運転1時間当たり	MT39XXXXXX	MTM39XXXXXX	「MT」を「MTM」に変更
	供用1日当たり	ML39XXXXXX	MLM39XXXXXX	「ML」を「MLM」に変更
下水	下水	MG39XXXXXX	MGM39XXXXXX	「MG39」を「MGM39」に変更
	登録単価	MG39*XX*XX	TGM390XX0XX	

③労務

分類		JACIC	ESTIMA	コード変換内容
土木	労務	RXXXXX	RRXXXXX	頭に「R」を付加
ユーザ	労務	R9000~R9999	RR9000~RR9999	
港湾	労務	R86XX	RR86XX	

単価改定システム

■ 5. 5. 単価追加データレイアウト ■ (2020 年 2 月時点)

1) ファイル

ファイル形式	CSV	下表データレイアウトによる
--------	-----	---------------

2) データレイアウト

項番	項 目	タイプ	必須	備考
1	単価コード	英数字	○	
2	単価名称	日本語	○	
3	規格	日本語		
4	単位	日本語	○	
5	出典	数字	○	出典区分管理の出典根拠 コード 1:刊行物 2:特調・県 3:特調・市 4:処理費 5:国交省資料(10月更新) 6:労務単価等(4月更新) 7:下水道課 8:他機関 9:企業庁 10:森林課 11:その他 12:SCOPE(港湾)
6	非公開フラグ	数字	○	非公開フラグ管理のコード 0:公開 1:非公開(刊行物) 2:非公開(他機関)
7	単価種別	数字	○	1:労務属性 2:材料属性
8	分類コード	数字	○	9桁
9	小分類	数字		未指定は『0』、重複可

※CSVファイルの先頭行は見出し行とする。

※CSVファイルの各値は、『』(ダブルクォーテーション)で括らない。